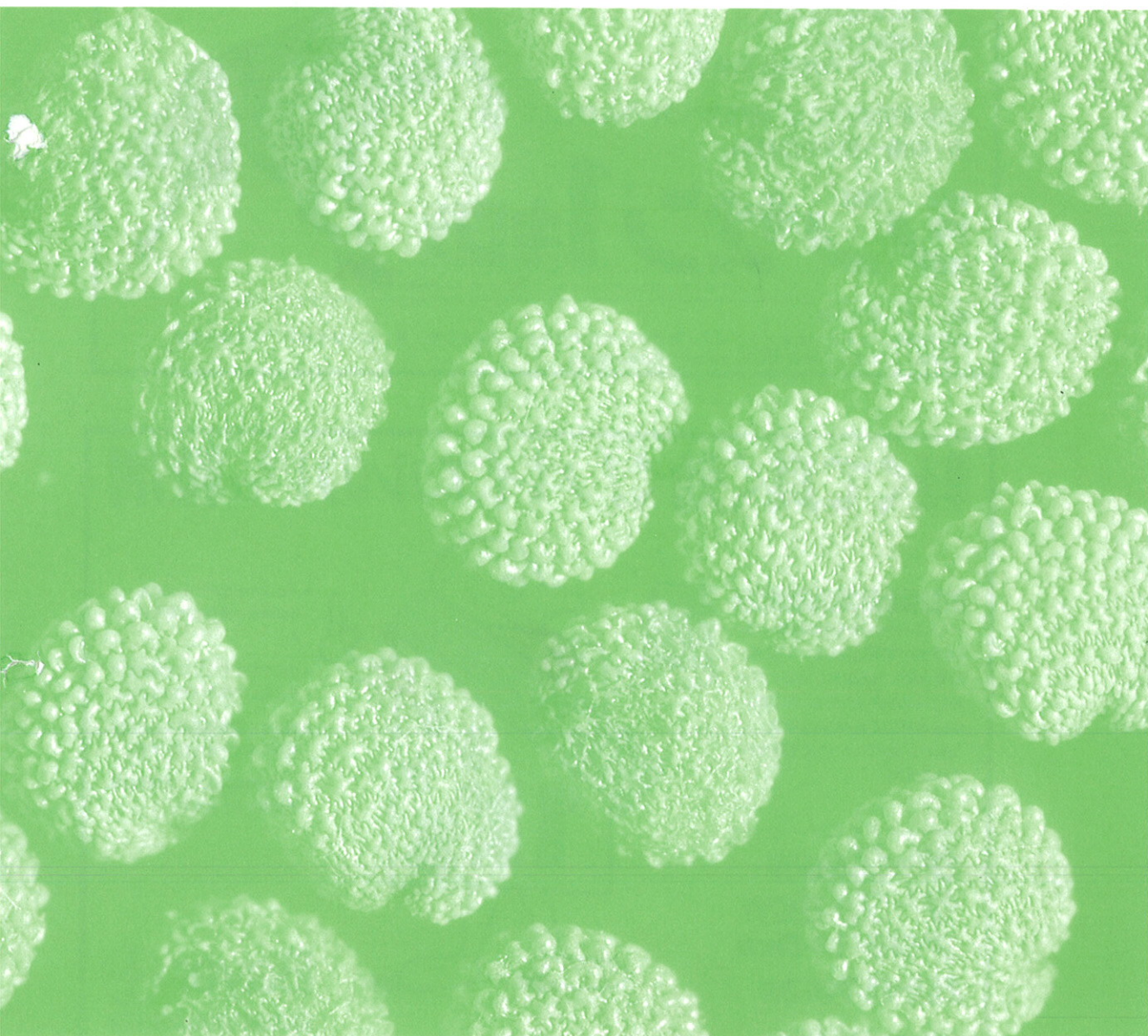


植調

第31卷第2号



ウシハコベの種子(*Stellaria aquatica*) 径1mm

財団法人 日本植物調節剤研究協会編



水田除草のサラブレッド!

■ 特長 ■

1. ノビエ、ホタルイに安定した高い効果
2. 処理適期幅が広い
3. 抑草期間が長い
4. 水稻に対する優れた選択性

処理適期幅が広い、殺草スペクトラムが広い、
初・中期一発1キロ粒剤。

シンザン® 1キロ粒剤

®: 住友化学工業(株)・日本バイエルアグロケム(株)・三井東圧化学(株)の共有登録商標



■ シンザン普及会 ■

塩野義製薬/八洲化学工業/アグロス/日本バイエルアグロケム/住友化学工業/三井東圧化学/三井東圧農業
(事務局) 三井東圧化学株式会社 東京都千代田区霞が関3-2-5

軽くて良く効く! バイエルの1キロ粒剤

水田初・中期一発処理1キロ除草剤

バイエルの1キロ除草剤は軽量・小型・
まきやすい粒剤で、なんといっても楽。
効果は高く、機械散布に対応している
おなじみの粒剤から生まれたミニ袋。
はるかに省力化された除草剤で、
これからの時代にあった雑草防除の
ための傑作。



- ノビエから水田一年生雑草・多年生雑草に優れた効果を示します。
- クログワイやセリなど難防除雑草に高い効果が期待できます。
- 最近とくに問題のアオミドロや表層剥離の発生も抑えます。
- 処理適期幅が広く、実用的な除草効果があがります。

—— バイエル ——

ザーフ1キロ粒剤

ザーフD1キロ粒剤

アクト1キロ粒剤

バトル1キロ粒剤

* 地域に合わせてお選びください。

Bayer

日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108

巻 頭 言

日 本 の 農 業 の 将 来 は ？



財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
石原産業株式会社 常務取締役 及川道彦

4月18日農業関係者注視の中「食糧・農業・農村基本問題調査会」が来年夏の答申を目標にスタートした。

戦後50年敗戦のどん底から今日の繁栄迄見事に作動して来た日本システムが今や変化の時代、国際化の視点で全面的見直しが迫られている現在「21世紀の日本の農業は如何にあるべきか」を各界の有識者によって討議され国民的合意を得た「新農業基本法」として設定されることは非常に意義あるものと思われる。

農業工業会でも世界情勢の変化等予測の難しい与件が多い本問題を検討すべく研究会をこの程発足させ、若手委員を中心に勉強することとなった。

既に新聞紙上では本課題に対し見解が大きく分かれ国民的合意を得る案に纏め挙げるのは無理との説も流布されているが、日本の耕地面積はたった500万haしかなく、1億2千万人を養うには現在の食生活(ぜいたく過ぎる)を維持するには1,700万haが必要である。と言った点については衆知の事実であり、更に耕地は年々減り続け耕作放棄地も増え過疎化はどんどん進行している。又農業就業人口の減小も止まる所を知らず、65才以上の高齢者が遂に40%に達したことも冷厳なる現実の姿である。

一方、食糧のみならず世界資源の枯渇も問題となり始めており自由貿易についても絶対とは

考えられぬ(米国のフロリダ燐鉱石の輸出禁止等)状況にある。これ等を考えると今後の方向を定めることが非常に困難であることは良く分かるが、日本国民に「メシを食わす」ことが日本政府の義務である以上、本問題が凡ゆる制度改革の上位にあるとの共通理念を何とか作って頂きたいと思う次第です。

私は農業を若い人達に魅力ある産業に育て上げることが最大急務であり、何よりも急ぐべきと考えるが、今や日本は米国と同様若い人の多くは製造業(農業を含む)を嫌い、第3次産業(流通・金融・マスコミ等)へ流れる風潮にあり、これを断ち切るのは容易ではない(農業が嫌で農協に入る人もいる時代である)。どうしたら良いかの小生の質問に対し或る人曰く「教育が悪い」の一言、「資源小国日本は21世紀を如何に生きるか」に焦点をしばって、教育から改革せねば日本農業の将来はないのか等この際、真剣に徹底的に論議して頂きたいと願っている。

我々農薬メーカーは売上高はパチンコ業界の僅か10分の1の小さな業界であるが、日本の農業、食料の確保に不可欠の生産資材を供給していると言う誇りの下に、農業の効率化・省力化・環境面への配慮・安全性の確保・科学の進歩に対すスチュワードシップ等を考え、日夜研究・開発・普及に努力し事業を進めている次第です。日本農業の発展を願って止みません。

目 次

(第 31 卷 第 2 号)

巻 頭 言

日本の農業の将来は? 1

<財)日本植物調節剤研究協会 理事

石原産業(株) 常務取締役 及川道彦>

雑草害の面から見た水田雑草の防除適期と

防除必要期間 3

<茨城大学農学部附属農場 佐合隆一>

栃木県における露地野菜の雑草防除 13

<栃木県農務部普及教育課 宇賀神正章>

平成8年度非農耕地関係除草剤・生育調節

剤試験成績概要 21

<財)日本植物調節剤研究協会 技術部>

平成8年度落葉果樹関係除草剤・生育調節

剤試験成績概要 31

<財)日本植物調節剤研究協会 技術部>

植調協会だより 50

使って安心、三共の農薬。



- 時代先どり、ジャンボな省力
投げ込むだけ

クサトリエース *Hジャンボ
Lジャンボ

- ノビエ2.5葉期まで使用可能

ラクダー Hフロアブル
Lフロアブル

- どっしり安定、しっかり効くゾウ
水稲用初・中期一発処理除草剤

ウィードレス *A1キロ粒剤36
1キロ粒剤51

- 使いやすい水稲用一発処理除草剤

スラッシャ 粒剤

- 移植前・初期除草剤

シング 乳剤



三共株式会社

雑草害の面から見た水田雑草の 防除適期と防除必要期間

茨城大学農学部附属農場 佐 合 隆 一

雑草の防除適期は、今日の雑草の防除が除草剤に依存した形で行なわれているため、除草剤の性能を最も発揮できる時期であると言える。しかし、LISA (Low Input Sustainable Agriculture) が提唱され、最小限必要な時期にだけ雑草防除するという基本にかえて、実際の圃場での雑草と作物の競合を観察した場合には、「除草剤の散布適期が雑草防除の適期であるのか」「雑草と作物の競合を回避するための防除必要期間が水稻栽培で移植後40～60日であるのか」など考えさせられる場合が多い。

一般に雑草と作物の間には光、水、養分の競合を生じ、その結果作物の生育が抑制されることにより減収したり、収穫物の品質を低下させている。その他に、雑草種子が収穫物に混入して品質を低下させたり、雑草が病虫害の発生源となったり、農作業の障害になるなどの害がある。ここではこれまでの雑草防除方法を振り返りながら作物の生育を直接抑制する競合からみた防除適期と防除必要期間について考えてみることにする。

1. 手取り除草における防除適期

17世紀後半の元禄時代から18世紀前半の享保期に農書が集中的に登場するが、その中の「会津農書」には「田の草は植えて21日に取り頃で

ある。だんだん暖かくなるにつれて、草の勢いが増して多くなれば、一人で取り除けた草も10人も要すようになる」「おおかた2回であるが3回防除する場合も土用前に済ませよ」「草の多い田は田畑輪換をせよ」「山畑里畑ともに、畑作毛の草取りは草の小さき時取り除くは手間も多く要さず、作毛もよし、草大なりて取れば、養の潤を草に吸われ作毛瘦せる」と記されている。また、有名な貝原益軒の「農業全書」では「上の農人は草のいまだ目にみえざる中うちし芸ぎり、中の農人は見えて後芸ぎる也、みえて後も芸らざるを下の農人とす是れ土地の咎人なり」と記され²⁾、初期防除の重要性と、儒教精神による勤労主義が強調されている。さらに、明治以降では、半沢 (1910) が「雑草学」の中で雑草の撲滅法として「寸時も是が生長するを許さず」と記しており、「このためには雑草の特性を知る必要がある」としている。

昭和16年の帝国農会発行の農作業慣行調査¹⁾によれば稲作の中耕除草労働は10アールあたり3～4人を要し、これは稲作の所要労働の約2割という大きな割合を占めており、このことは経営内の全体の農作業にも大きく影響し、農業経営の発展を妨げていた。にもかかわらず、人力による除草の場合には雑草許容限界や要防除期間の概念は恐らく存在せずに、労働効率からみた防除適期は「初期防除」であり、雑草の再

生産を防ぐ「より完全な防除」が基本であったのではないと思われる。

荒井(1954)は「終戦後農地改革につづいて農業技術の新しい在り方についていろいろ検討された結果、労力の合理的使用と人間労働の能率化についての技術が新しく重視されてきた。これに伴い、雑草防除の問題が重視され、当時米国より紹介された選択性除草剤 2,4-D を中心として雑草防除の研究が盛んになり、この研究も実際問題解決の方向へ努力されてきた。」と述べている。1950年代以降は中耕除草機や除草剤の開発がすすみ、作物と雑草の競合に関する多くのすぐれた研究が報告されている。

2. 要防除期間・雑草許容限界量

飯島ら(1959)が信州大学附属農場で行なった大豆と雑草の競合についての結果を表-1に示した。5月22日播種で7月1日から8月1日のある時期までは発芽当初より共存した雑草の害を受けることはなく、これらの雑草により害

を受けるのはこの時期以降である。また、この時期以降に発生した雑草は収穫時まで放置しておいても収量に何らの影響を与えないが、この時期以前に発生した雑草を収穫時まで放置すると収量が低下する危険性がある。したがって、7月1日または8月1日の1回除草だけで、常時清潔に近い4回除草区とはほぼ等しい収量が得られており、その前後には雑草が存在しても何ら差し支えないことを示している。

つぎに、川延(1958)が東京大学附属農場で行ったバレイシヨに関する結果を表-2に示した。つまり、バレイシヨ萌芽期から塊茎形成期に雑草による害作用を受ける時期があり、バレイシヨ萌芽時に一度除草作業を行なった場合にはその後発生した雑草はバレイシヨの収量に全く影響がないとしている。

こうした一連の研究結果から、川延らは雑草許容限界量という概念を提起し、雑草がいかなる場合にも作物に害を及ぼしているわけではなく、その存在する量が一定量以下であれば害を

表-1 ダイズ作における除草時期・回数と雑草量並びに収量の関係 (飯島ら)

除草回数	除 草 時 期				除草量 (㎡あたり生体重 g)				収 穫 物 調 査		
	6/1	7/1	8/1	9/1	6/1	7/1	8/1	9/1	茎長(cm)	茎径(mm)	種重(g)
0	—	—	—	—	—	—	—	—	* 60	* 9.03	* 17.2
1	○	—	—	—	8.5	—	—	—	53	9.33	19.2
1	—	○	—	—	—	32.2	—	—	53	12.70	40.1
1	—	—	○	—	—	—	1,450.2	—	52	12.28	35.7
1	—	—	—	○	—	—	—	2,662.2	* 59	* 9.93	* 22.1
2	○	○	—	—	8.5	27.6	—	—	53	12.63	37.2
2	○	—	○	—	7.0	—	1,228.5	—	53	13.10	33.4
2	—	○	—	○	—	37.8	—	377.8	52	12.56	33.8
3	○	○	○	—	9.1	22.8	64.0	—	51	12.95	38.4
3	○	—	○	○	8.0	—	670.4	27.9	50	12.00	32.2
3	—	○	○	○	—	26.9	23.4	65.5	53	13.38	38.6
4	○	○	○	○	7.8	47.8	79.6	11.7	51	13.36	35.7

注 1) 除草時期の○印は作業実施を示す。

2) 収穫物調査の数字のうち、*印のものは雑草の影響を受けていることが明瞭なもの。

3) 発生した主要雑草はスペリヒユ、イヌタデ、メヒシバ、アキメヒシバ、アカザ、チカラシバ、ノビエ、ツユクサ。

4) 5月22日播、㎡あたり7株植え。

5) 収穫物は1区24株につき調査、3区平均、1個体平均風乾重。

表-2 バレイショ作における除草時期・回数と生産量の関係 (川延)

試験区番 号	除草回数	除 草 時 期 と 除 草 量 (g)					総雑草量 (g)	バレイショ収 量 (g)
		萌 芽 期 (5月8日)	塊 茎 形 成 期 (5月28日)	塊茎肥大 初 期 (6月7日)	塊茎肥大 中 期 (6月21日)	収 穫 期 (7月8日)		
1	4 (標)	1.6	0.5	0.2	0.5	1.9	4.7	6,232
2	2	2.0	0.9	—	—	8.0	10.9	6,698
3	2	1.5	—	2.0	—	7.7	11.2	5,895
4	2	2.2	—	—	2.7	5.0	9.9	5,605
5	1	3.5	—	—	—	8.1	11.6	5,850
6	0 (放任)	—	—	—	—	39.8	39.8	5,122

注1) 除草量および総雑草量は共に70cm×150cmあたりの乾物量を示す。

2) バレイショ収量は20株あたりの数値を示す。

3) 4月10日植付け, 栽植密度70cm×24cm (ポテトプランターによる)。

4) 1区画面積は6条×3.1mとし, 乱塊法による4回反復。

5) この実験圃に発生した主要雑草はメヒシバ, イヌタデ, アカザ, イヌビユ, カヤツリグサなどである。

与えない最大雑草量を示した。

顕著な作用をもたない。いいかえるならば, これら両時期の雑草は放置しておいても水稻の生育・収量にさほどの支障はないことを示した (表-3~表-5)。しかしながら, 現行の乾田直播栽培で初期除草が強調されるのは, この時期の雑草が最も除去しやすいという労力的, 経済的な理由や現行の除草剤の適性に原因するものであって, 必ずしも水稻の生育・収量の増大のために最適の除草時期を選んでいるもので

3. 水稻作における防除適期

渡部ら(1963)は, 水稻の乾田直播栽培における雑草害を調査し, 水稻の生育収量の低下を雑草害と考えると, 乾田状態下の生育初期における雑草の存在はほとんど害作用を示さないことを明らかにした。同様に, 幼穂形成期以降のいわゆる生育後期における雑草の存在もさほど

表-3 試験区の構成 (渡部ら)

除 草 時 期	試験区記号	除 草 期 間 (月・日)	日 数	回 数
初 期	E	5・21 ~ 6・13	24	2
中 期	M	6・14 ~ 7・31	48	3
後 期	L	8・1 ~ 10・17	78	3
初・中 期	EM	5・21 ~ 7・31	72	5
初・後 期	EL	5・21 ~ 6・13, 8・1 ~ 10・17	102	5
中・後 期	ML	6・14 ~ 10・17	126	6
全 期 (完全)	C	5・21 ~ 10・17	150	8
放 任	NW	—	—	—

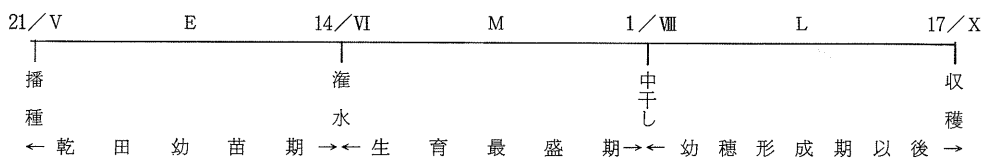


表-4 発生雑草量 (渡部ら)

試験区	除草量	残存雑草量			総量
		初期	中期	後期	
E	0.52	—	260.11	—	260.63
M	2.76	9.95	—	65.28	77.99
L	13.42	273.02	—	—	286.44
EM	4.80	—	—	30.19	34.99
EL	6.41	—	108.25	—	114.66
ML	14.47	9.52	—	—	23.99
C	13.19	—	—	—	13.19
NW	—	—	423.42	—	423.42

表-5 収量差の有意性検定 (渡部ら)

	ブロック別 玄米収量 kg/10a	平均収量 kg/10a	有 意 性	
			Cに対し	Mに対し
E	118.4 171.8	145.1	*	*
M	303.6 297.4	300.5	*	—
L	185.4 206.0	195.7	**	*
EM	395.7 260.1	327.9	N.S.	
EL	196.3 237.3	216.8	*	
ML	370.6 334.6	352.6	N.S.	
NW	22.4 25.6	24.0	**	
C	448.6 415.4	432.0	—	

はないと述べている。この時までの知見が背景となって書かれたものと思われるが、植木らは「雑草防除大要」(1972)の中で防除の基礎理念として「完全防除から害のない程度に調節」へ再検討すべきとしている。今日においても必ずしも定着していないと言える「完全防除」否定論が明確に記されている。

さらに、稚苗水稻栽培における一年生雑草を主体とした雑草の要防除期間についての鈴木ら(1975)の報告によると、早期移植(5月1日)、普通期移植(5月10日)では雑草量が移植40日

目から60日頃までの間で急増し、水稻の茎葉増加を強く抑制して、これが減収の主要因となる。したがって、移植後約40日間は雑草を放任しても、20日間放任に比べて5~10%の減収率であり、晩期移植(5月21日)ではさらに小さいとしている。また、早期移

植、普通期移植では40日間、晩期移植では20日間完全に防除すれば雑草害を受けないとしている(図-1)。宮原はタイヌビエを主体とした雑草では、ある雑草量段階からは雑草種による収量への影響が見られなくなり、その量は条件によって異なるが平方メートルあたり茎葉風乾重で数十g以下、雑草重量群落比で数%以下で

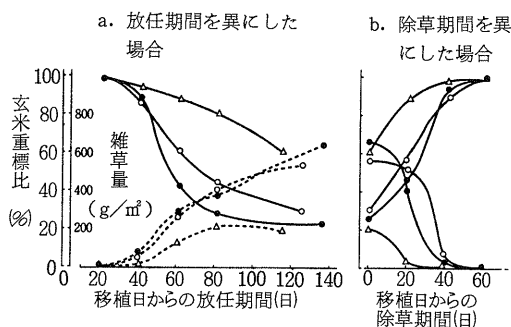


図-1 移植後の放任期間と除草期間を異にした場合の雑草量と収量(鈴木ら)

注1) ● 5月1日移植, ○ 5月11日移植,
△ 5月21日移植
2) — 玄米重標比,雑草重

あるとしている⁶⁾。

成苗移植栽培での多年生雑草ミズガヤツリのお稲生育収量に対する影響について山岸(1979)は、ミズガヤツリの発生時期が田植直後の場合には平方メートルあたり1個体発生しても5~20%の減収となるが、田植後発生したミズガヤツリを移植後20日に除草した場合には水稻の収

表-6 水稻の収量および収量構成要素に及ぼすミズガヤツリの影響(山岸)

年次	試験区		収 量					収 量 構 成 要 素		
	植付時期	植付株数	全 重 (g/m ²)	精 籾 重 (g/m ²)	穂 数 (本/株)	一穂籾数 (粒)	登熟歩合 (%)	精 籾 千 粒 重 (g)		
1968	—	0	1,962	753.6	21.6	101.0	82.8	26.7		
	0	1	80 %	78 %	80 %	95 %	102 %	99 %		
		2	71	70	74	90	103	100		
		4	64	60	69	84	103	99		
		8	50	44	59	76	97	98		
	15	1	97	96	97	96	99	99		
		2	94	93	92	100	99	100		
		4	88	87	84	102	102	98		
		8	82	79	80	96	103	97		
	30	1	100	103	100	98	102	100		
		2	101	102	103	99	99	100		
		4	100	100	97	101	100	100		
		8	100	101	99	101	100	100		
1969	—	0	1,670	660.2	21.6	78.4	76.2	25.6		
	0	1	95 %	92 %	95 %	98 %	100 %	99 %		
		2	85	85	92	96	99	98		
		4	75	71	79	93	98	98		
		8	72	65	75	91	99	96		
		16	64	59	69	88	98	95		
	10	1	99	99	100	101	100	99		
		2	97	99	98	99	102	100		
		4	93	93	96	98	100	99		
		8	86	85	89	97	99	99		
		16	80	81	86	95	101	99		
	20	1	100	102	101	100	100	100		
		2	98	99	99	100	100	100		
		4	97	98	99	100	100	99		
		8	96	96	97	100	100	100		
	30	1	100	100	103	99	98	100		
		2	100	102	101	101	101	99		
		4	100	99	101	100	99	99		
		8	99	99	100	100	100	100		

注) 無競争区は実数, 競争区は対無競争区比率で示す。

量は減収しないことを認めている。また、田植後30日に平方メートルあたり1～8株発生した場合には水稻生育に対する影響は認められないと報告している(表-6)。多年生雑草のオモ

作物の発芽前後や移植前後には雑草が発生しても作物の生育・収量には影響しない期間があり、その後 critical periodと言われる雑草要防除期間が存在し、その期間を終えた後に発生す

ダカについて伊藤ら(1988)は関東平坦部における普通期栽培では移植20日後まで、早期栽培では移植30日後までに発芽したオモダカを完全に防除し、秋耕を早めに実施すれば長期的にみて発生量を減少させることができると推定している。

また、Zimdahl(1980)は雑草競合の critical period として明らかにしている。これによれば水稻では3週間完全に防除すればそのシーズンの残りの期間は雑草が生えても収量に影響がなく、播種後6週間後に生える雑草は収量に影響しない。すなわち、水稻の雑草防除は3週間から6週間までの間防除すれば良いことを示している。

以上の知見をまとめると図-2に示すとおり、作物の種類によって違いがあるものの、

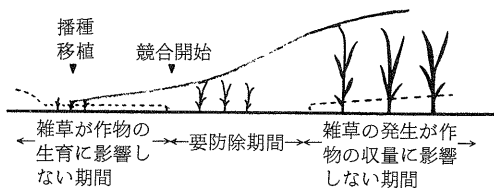


図-2 作物・雑草競合の一般的図式(佐合)

る雑草は作物の生育・収量に影響しない期間が存在することが一般的雑草・作物競合の図式である。この要防除期間は作物の栽培地域、栽培時期、栽植密度、発生雑草種によって異なることから、地域ごとに明らかにする必要がある。

4. 雑草防除の今日的課題

1950年代頃から明らかにされてきた「雑草許容限界」とか「要防除期間」も今日の防除技術の中に生かされず、作物の生育初期に雑草防除を実施するのは、現行の除草剤が水稻の生育初期に有効であるという特性を前提にしたためである。また、現在水田に使用されている除草剤の多くは一発処理除草剤と称され、殺草スペクトラムが広く、残効性の長いことが特徴となっている。本剤の普及による雑草防除効率の向上への貢献は計りしれないものがある。

しかし、雑草と作物の競合のない時期に除草剤を散布し、要防除期間まで残効期間を確保するために、分解しにくい残効期間の長い除草剤を使用している。こうした現在の防除法は、必要最小限の期間を除草時期としているとは必ずしも言えないということである。

また、水田に散布した除草剤の河川への流出は全ての除草剤で認められている。そして除草剤の使用量に対する河川への流出量の割合を示す流出率は水溶解度の高い除草剤ほど大きいことが明らかにされている⁷⁾。さらに、有効成分含量が少ないため検出されにくいのが、水田外の

環境中でも分解されにくい特徴がある。今後はこうした公共河川への汚染を減らす方法や河川に流出した除草剤の野生植物などへの影響をなくすることが求められてくる。「除草剤による防除を必要な時期に、必要最少限度の量を合理的に使用して、環境への負荷を最小限にする低投入型農業への転換」等を考えた場合にはこの要防除期間にのみ有効な除草剤の開発を目標にする必要がある。具体的には水稻移植20日後頃に散布し、その時期までに発生している雑草を枯殺し、ある程度(10~20日程程度)残効性のある除草剤が想定される。もちろん水田内で分解され、水田外への流出がないことが必要である。

「葉令の進んだ雑草と作物との選択性が必要であること」や「散布方法をいかにすべきか」など解決すべき課題は多くある。しかし、これまでの驚異的な除草剤開発の歴史をみると克服できない課題ではないし、現在その萌芽と見られる除草剤や技術も生まれつつある。

引用文献

- 1) 荒井正雄. 1954. 水田雑草防除の進歩. 農園 29(1) 135-138.
- 2) 半澤 洵. 1910. 雑草学. 六盟館.
- 3) 飯島ら. 1959. 機械化に伴う畑作雑草防除体系の確立に関する研究 第2報 信州大紀要.
- 4) 伊藤一幸ら. 1988. 水田多年生雑草オモダカ繁殖体の生存状態と出芽に関する生態学的研究. 雑草研究 33(2) 136-144.
- 5) 川延謹造ら. 1958. 畑作除草作業体系の確立に関する研究 第1報平畦作りの馬鈴薯収量に及ぼす雑草の影響. 日作紀 29: 252-254.
- 6) 宮原益次. 1992. 水田雑草の生態とその防除. 全国農村教育協会.
- 7) 宮原益次. 1995. 今後の水稻作用除草剤の利用について. 雑草研究 40(2) 69-74.
- 8) 小野武夫編著. 1944. 会津農書. 伊藤書店.

- 9) 鈴木光喜ら. 1975. 水田雑草の発生生態 第3報水稲稚苗移植田における雑草の発消長と雑草害. 雑草研究 20 (3) 114-117.
- 10) 植木邦和ら. 1972. 雑草防除大要. 養賢堂.
- 11) 渡部忠世ら. 1963. 乾田直播栽培における除草時期と水稲の生育収量との関係. 雑草研究 2 : 81-85.
- 12) 山岸 淳. 1979. ミズガヤツリの生活過程の解析と防除に関する研究. 千葉県農業試験場特別報告 8 : 1-94.
- 13) Zimdahl, R.L. 1993. Fundamentals of Weed Science. Academic Press.



こりゃいーや、軽くて楽だ!

省カタイプ・10アール当り

1キロ散布

初・中期一発処理除草剤

フジガラス® 1キロ粒剤



少量化で省力化。

フジガラス普及会
デュボン株式会社
ゼネカ株式会社
事務局
日本農業株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号

芝生の造成と管理 — 芝草管理者のために —

眞木芳助／編集
B5判 定価20,000円

環境保全のための資源として芝生の需要が増している。本書は芝生の造成から管理にいたる芝生づくりのすべてをゴルフ場の例を中心に分かりやすく解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6 (植調会館)
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

 NOVARTIS

1キロ革命

1反=1キロ=1袋!! ラクラク散布で優れた効果



ソルネットだから、**優れた特長** ●「10アールあたり1キロの散布」で、ノビエやホタルイに安定効果。
1キロ粒剤だからの ●軽量・小型だから「散布効率が大幅アップ」「持運び・保管が容易」。
●省資源化をめざした「新製剤技術」で、優れた拡散性とムラのない効果。

効きめと能率性で一発剤とベストマッチング

ソルネット® 1キロ粒剤

ソルネット普及会：クミアイ化学工業株式会社・武田薬品工業株式会社

事務局：ノバルティス アグロ株式会社

東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル34F 〒105 TEL.03-3435-5252

®=登録商標

除草剤の
パワーが生きる  水管理。

- ①水尻止めて漏水防ぐ畦チェック
- ②落水・かけ流し禁止、散布後4日間
- ③まめに水足し、水深保つ心がけ

NOVARTIS

水田の初期除草

乳剤ならエリジャン。



使ってカンタン、効果に感嘆 !!

均平作業後に手振り散布で！

エリジャン乳剤の優れた特長

- 水田の初期剤としてノエビ・ホタルイ等に安定した効果。■手振り散布でラクにムラなく散布OK。
- 散布後は素早く拡散、速やかに土壌吸着。(澄水時もOK。)
- 持ちやすい、まきやすい独特の形状と材質のボトル。■低コストの新乳剤。

水田初期除草剤

エリジャン® 乳剤

(R)=登録商標

(ブレチラクロール12%)

エリジャン普及会

販売：クミアイ化学工業株式会社・武田薬品工業株式会社・株式会社トモノアグリカ

事務局：ノバルティス アグロ株式会社
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル34F 〒105
TEL 03-3435-5252

除草剤の

パワーが生きる 水管理。



- ① 水戻止めて漏水防ぐ畦チェック
- ② 落水・かけ流し禁止、散布後4日間
- ③ まめに水足し、水深保つ心がけ



●10アール当たり薬剤量わずか60g
の軽量・コンパクトです。

●ボトル散布、散布機器の使用…い
ずれも省力的です。

●ボトルのサイクル利用により省資
源ニーズにも応えます。

●拡散性に優れ、畦畔からの散布も
可能です。

●各種雑草に対して通常40～50日
間の残効が期待できます。

●使用適期幅が広く、余裕を持って散
布できます。

**軽量・コンパクト、しかも
効きめはハード。**

水田初・中期一発処理除草剤

ダイハード® 顆粒
[新剤型フロアブル]

時代は省力・省資源

新登場



ダイハード協議会

塩野義製薬株式会社 八洲化学工業株式会社 永光化成株式会社
事務局 日産化学工業株式会社 〒101 東京都千代田区神田錦町3-7-1

栃木県における露地野菜の雑草防除

栃木県農務部普及教育課 宇賀神正章

1. 栃木県の露地野菜栽培の概況

栃木県の耕地面積は137,600 haで、内水田が104,400 haあり、水田率が78.1%と高くなっている。したがって、畑地の割合が少ないことから、畑地に作付けされることが多い露地野菜の栽培も比較的少ない。

野菜の生産はいちご、トマトなどを中心とする施設野菜栽培が盛んに行われている。特にいちごは全国一の生産販売を誇っている。

露地野菜の生産は県中、南地域の畑地帯における生産と、県北地域の水田転作による生産に大別することができる。県中、南地域の畑地帯においてはさといも、なす、ごぼう、ほうれんそう、ねぎ、かぼちゃ、はくさい、スイートコーンなどが作付けされている。水田においてはたまねぎ、レタス、ブロッコリー等が栽培されている。県北地域の水田では、うど、ねぎ、なすなどが主に栽培されている。

表-1 主要露地野菜の栽培面積

品 目 名	栽培面積 (ha)	品 目 名	栽培面積 (ha)
ご ぼ う	356.1	た ま ね ぎ	220.3
さ と い も	517.1	レ タ ス	220.6
は く さ い	407.3	な す	219.5
ほうれんそう	390.6	か ぼ ち ゃ	84.9
ね ぎ	216.4	ス イ ー ト コ ー ン	148.1
う ど	228.0		

各農業改良普及センター調べ(1996)

2. 各露地野菜における雑草防除の実態

に ん じ ん

加工用(にんじんジュース用)の栽培が盛んになり県南地域を中心として栽培が増加してきた。加工用栽培は夏播き、秋冬取り栽培となっている。

生食用栽培は春播き、初夏取り栽培と夏播き、秋取り栽培が行われている。春播き栽培では雑草は問題とならないが、夏播き栽培では雑草対策が重要である。

栽培方法は耕起後、「ごんべい」等の播種機を用いて播種を行っている。その後、本葉が4から5枚程度になったら間引きを行い、その後、中耕、培土を行っている。

雑草防除は、播種後ロロックス乳剤+ゴーゴーサン乳剤を混合して10aあたりそれぞれ100gを100から150リットルの水に溶かして散布する例や、ナブ乳剤やロロックス乳剤を単独で使用している例もある。

茎葉が繁茂してくるようになると雑草の問題はなくなる。また、にんじんの肩の緑化防止対策として土寄せを行うことで、同時に雑草防除も行える。

にんじんの栽培地が畑地であるため、上記の除草剤では「カヤツリグサ」「スベリヒユ」が残るので、手作業で草取りを行っている例もある。

う ど

栃木県のうど栽培は15年ほど前から行われるようになり、県の北部地域（大田原，黒磯）を中心に盛んに行われている。水田の転作物として、大規模な栽培が行われている。

栽培様式は、4月上中旬に植え付けを行い、その後株養成をし、11月上旬から株を掘りとり、順次伏せ込み、12月下旬から5月上旬にかけて出荷する栽培となっている。

主にパイプハウス内に伏せ込み床を作り、軟化する「山うど」栽培が行われている。

雑草防除については、植え付け後ラッソー 400 g + ゲザプリム 200 g を 10 a に散布することによって初期の雑草発生を押さえている事例が多い。トレファノサイド、ゴーゴーサンでは葉が黄化するなど薬害を生じる事例があり、あまり使用例がない。水田に作付けする場合は多いので、「スズメノテッポウ」が多い場合はロックスを混入する場合もある。

植え付け後20から25日後にコダール粒剤 4 ～ 5 kg を散布して、その後発生する雑草を防除している。

茎葉が繁茂してきて、畝間が見えなくなる直前に中耕培土を行うことが多い。この作業によって雑草も押さえられる。このとき、雑草の発



写真－1 うどの培土作業状況

生が多い場合は、プリグロックス等の茎葉処理剤を散布している例もある。茎葉の繁茂により畝間が見えなくなってくれば、多少の雑草の発生があっても生育に影響がなくなるので防除は行われていない。

栽培体型は連作障害を回避するため1～3年程度水田に戻してから作付けするようになっている。こうすることによって雑草防除も比較的容易になっていると思われる。

ご ぼ う

栽培は春播きと秋播き栽培があるが、春播き栽培が主力となっている。栽培地域は、県中部の石橋町、壬生町等の畑地帯が多くなっている。この地帯の土壤条件は「黒ボク」と呼ばれる火山灰土からなっており、1メートルほどの層がある。

栽培様式は、トレンチャーにより前進堀を行い、そこにシーダーテープ等を使って播種する。前進堀を行うことによって、下層の雑草種子を含まない土が表面に出てくるので初期の雑草は発生が少なくなっている。

雑草防除体系は、播種、覆土後にトレファノサイド乳剤を散布し、初期の雑草防除を行う。その後、1ヶ月ほど過ぎてから中耕を行うことによって雑草の発生を押さえている。雑草の発生が少ない場合は、中耕を2から3回行うだけで除草剤を使用しない例もある。

中耕後は、茎葉が繁茂してくるので雑草の発生は問題なくなる。

トレファノサイド乳剤は葉が黄化する薬害が発生し、生育抑制があるので注意が必要である。

さ と い も

県中部の鹿沼市、宇都宮市を中心に栽培されている。栽培地目は、水田と畑の両方で栽培されている。

4月上旬に植え付け、10月から11月に収穫する作型が多くなっている。

マルチ栽培と、無マルチ栽培がほぼ半々に行われている。マルチ栽培においては白マルチが主に使われており、播種、覆土後トレファノサイド粒剤を3 kg/10 a散布してマルチをしている。

梅雨明け前にマルチをとり、雑草防除も兼ねて中耕、培土を行っている。この作業により当面は雑草を押さえられるが、どうしても発生の多い場合は畝間にバスタ等の茎葉処理剤を散布している例もある。通常の発生であれば、その後の茎葉の繁茂により雑草の発生は問題となっていない。



写真-2 さといもの
除草剤散布
状況

写真-3 さといも
培土後の
状況

ね ぎ

全県的に栽培が増加している品目である。特に、近年セル成型苗を利用した全自動定植栽培が導入されたことによって省力化が進んだ品目である。

地床育苗の場合は、播種後ゴーゴーサン乳剤を処理し、以後発生してきた雑草は手で除草を行っている。最近では、セル成型育苗や、ペーパーポ

ットによる育苗が多くなり、育苗中の雑草防除は必要なくなっている。

定植後は、ゴーゴーサン乳剤、粒剤やコンボラルを使用するケースが多くなっている。

定植期から問題となる雑草が「オヒシバ」「イヌタデ」「ハキダメギク」「スズメノカタビラ」などである。特に、菊科の雑草が多く残り防除を困難にしている。

定植後1ヶ月ごろまでに発生する雑草に対してはロロックス水和剤、ナブ乳剤を処理している。この処理は雑草の発生初期でないと効果が落ち、ロロックスはねぎが小さい時期は軽い被害を生じる。

その後は、土入れ、土寄せを順次行っていくので雑草の発生は大きな問題とならないが、畝の肩などに生える雑草は手作業で処理されている。

た ま ね ぎ

主に水田に作付けする露地野菜として、古くから県中南地域を中心に栽培されてきた。ねぎと同様に地床育苗とセル育苗が行われ、ゴーゴーサン乳剤中心の防除が地床育苗で行われている。

雑草防除体系としては定植後にゴーゴーサン乳剤、粒剤、コンボラルのいずれかを散布し、12月上旬にはクロロIPCを散布、2月下旬から3月上旬にアクチノール乳剤を散布するようになっている。

水稻との輪作では問題とならないが、麦との輪作においては「スズメノテッポウ」「ヤエムグラ」等が問題となっている。「ヤエムグラ」の2、3葉期までであればアクチノール乳剤が効果的である。

3. 今 後 の 課 題

表-2 栃木県雑草防除基準(除草剤の使い方)

(平成9年度栃木県病害虫雑草防除基準より抜粋)

野 菜 類

作物名	使用期間	使用薬剤10a当たり使用量	適正 使用基準	使用上の注意
だいこん	は種直後	トレファノサイド乳剤(魚) 150~200m ^l	—/1	1. 覆土をやや厚めにし、は種直後全面に散布する。散布回数は1回とする。 2. は種溝には薬剤を少な目に散布する。
	は種前又は は種後	バスタ液剤(グルホシネート) 300~500m ^l	45/2	1. は種前又は畦間の雑草茎葉散布とする。 2. 畦間散布はできるだけ作物にかからないように注意する。 3. 収穫45日前までで、2回以内の散布とする。
にんじん ごぼう	は種前又は 生育期	トレファノサイド粒剤(魚) 3~4kg	—/1	1. 粒剤はは種前に土壌混和する。散布回数は1回とする。 2. 発芽後本葉3枚目以降土壌全面に散布する。 3. トレファノサイドの生育期散布は薬液が葉にかからないようにする。散布回数は1回とする。 4. トンネル栽培では使用しない。
		トレファノサイド乳剤(トリフルラリン)(魚) 200m ^l	—/1	
		ナブ乳剤(セトキシジム20%) 150~200m ^l	30/1	
にんじん	は種直後	ゴーゴーサン乳剤 200~400m ^l	—/1	は種覆土後に全面に散布する。散布回数は1回とする。
	は種後(雑草発生前)	コンボラル 4~6kg	—/1	1. まきむらのないように土壌全面に均一に散布する。 2. キク科、ツユクサには効果が劣る。
	は種後又は 生育期(雑草発生前~ 発生始期)	ロロック 100~200g	—/1	1. 広葉雑草に有効。 2. 処理後土の表層を壊したり、動かししたりしない。
ねぎ	定植後	トレファノサイド乳剤 200~300m ^l	—/1	1. 土壌表面散布、苗床には散布しない。 2. 散布回数は1回とする。
		ゴーゴーサン乳剤 200~300m ^l	—/1	
	定植活着後 (雑草発生前)	コンボラル 4~6kg	—/1	1. まきむらのないように土壌全面に均一に散布する。 2. キク科・ツユクサには効果が劣る。
		クレマート乳剤 200~400m ^l	—/1	1. 碎土、整地、覆土はていねいに行う。 2. 砂質土壌では薬害を生じやすいので、所定量の範囲内で少なめの薬量を使用する。 3. 多年生雑草及びきく科雑草には効果が劣る。
		クレマートU粒剤 4~6kg	—/1	
たまねぎ (つづく)	定植後及び 生育期	クロロIPC(IPC) 200~300m ^l	90/2	定植後(11月中旬)と3月中旬頃かろく中耕土寄せしてから全面に散布する。

作物名	使用期間	使用薬剤10a当たり使用量	適正 使用基準	使用上の注意
たまねぎ (つづき)		トレファノサイド乳剤(魚) 250～300 g	－/2	1. 定植後に土壌全面に散布する。 2. 散布回数は2回以内とする。
	定植後	ゴーゴーサン乳剤 300～500m/l	60/1	1. 定植直後から活着直後までに使用する。 2. 散布回数は2回とし、生育期散布はさける。
	定植活着後 (雑草発生前)	クレマート乳剤 200～400m/l	－/1	1. 碎土、整地、覆土はていねいに行う。 2. 砂質土壌では薬害を生じやすいので、所定量の範囲内で少なめの薬量を使用する。 3. 多年生雑草及びきく科雑草には効果が劣る。
はくさい キャベツ レタス	は種直後又は定植後	トレファノサイド乳剤(魚) 200～300m/l	－/1	1. は種直後は土壌全面に散布、定植後は土壌全面に散布する。散布回数は1回とする。 2. セル成型苗には薬害が発生する恐れがあるので、使用を避けること。
キャベツ レタス	定植前	ゴーゴーサン乳剤 200～400m/l	－/1	1. 根に処理層がふれないように充分注意して移植する。 2. 散布回数は1回とし、定植後の散布は行わない。
はくさい キャベツ	定植後	ナブ乳剤(セクトシジム) 150～200m/l	30/1	
ほうれんそう	は種直後	レンザー水和剤 100～150 g ラッソー乳剤 100～150m/l	－/－	1. は種直後全面に散布する。散布回数は1回とする。 2. 砂質土壌では生育を遅延させることがある。 3. 後作(イネ科、ウリ科)は90日以上あけて作付する。

い も 類

作物名	使用期間	使用薬剤10a当たり使用量	適正 使用基準	使用上の注意
さといも やまのいも	植付後又は 生育期	トレファノサイド粒剤(魚) (トリフルラリン) 4～5 kg	－/1	1. 土壌全面に施用し表土と混和する。散布回数は1回とする。 2. マルチ栽培では被ふく直前に処理する。 3. 散布ムラのないように注意する。
さといも	植付後	ゴーゴーサン乳剤 200～400m/l	－/1	1. 植付後萌芽前に全面散布する。 2. 散布回数は1回とする。
	植付後(雑 草発生前)	コンボラル 4～6 kg	－/1	1. 砂土では使用しない。 2. まきむらのないように土壌表面に均一に散布する。 3. きく科、つゆくさ科には効果が劣る。
食用とうもろ こし		ゴーゴーサン乳剤 200～300m/l	－/1	1. は種覆土後に全面に散布する。 2. 散布回数は1回とする。

(1) セル成型苗利用に対応した雑草防除体系の確立

栃木県においては「ねぎ」「たまねぎ」「にら」等の野菜においてセル成型苗を利用した、全自動定植が急速に普及している。従来の地床育苗では育苗中の除草が問題であったが、セル成型育苗においては雑草防除は問題となくなっている。しかし、小さい苗を定植するため、初期の雑草防除がうまくいかないと作物の生育に影響が出てくる。また、「たまねぎ」においては定植期が早くなるため、定植後の雑草発生も多くなる傾向があり、防除がうまくいかない例も出てきている。

水稻との輪作や除草剤の効率的な利用による防除体系確立が必要である。

(2) 難防除雑草対策

畑地における「ねぎ」「にんじん」等の栽培において除草剤の効きにくい雑草が残り、防除が困難となっている。特に、「ハキダメギク」等菊科の雑草や「スベリヒユ」「カヤツリグサ」等が問題である。

畦畔にはえている「スギナ」が栽培圃場内に進出してきて、防除に困っている例も多くある。

水田においては、「ヤエムグラ」の多い圃場では春先から急激に伸び出すため、初期の対策を怠ると除草剤では防除できず、手作業により大変な労力を費やすことになる。

(3) マルチムギの利用

栃木県内にはいくつかのかぼちゃの産地がある。上三川町、小山市、野木町、烏山町、南那須町などである。かぼちゃは輸入が多くなり生産が減っているところが多いが、烏山町、南那須町ではハート型の粉質かぼちゃを栽培し生産を伸ばしている。しかし、かぼちゃ栽培において敷きわらの確保が問題となってきた。

ここで南那須町において行ったマルチムギ利用によるかぼちゃ栽培事例を紹介する。

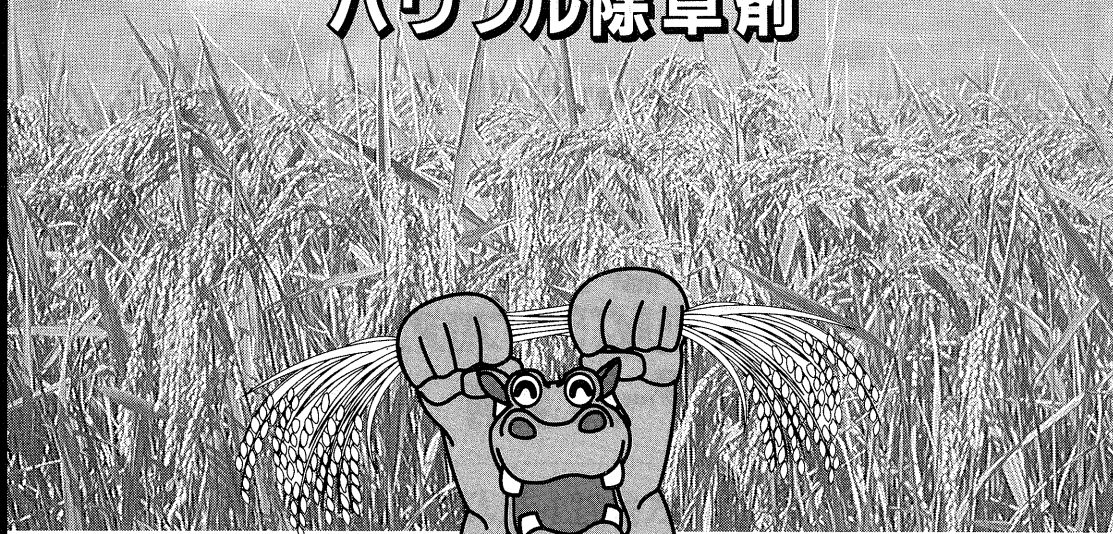
目的としては、敷きわら材料の確保及び労力の軽減、雑草防除と麦の枯れ上がり倒伏後は土壌水分の維持である。

播種時期は定植前30日から定植時が適当である。しかし、雑草の多い場では麦の伸びる前の雑草発生が問題となるので定植前の播種が良い。播種量は10アールあたり8キログラム程度が適当である。

雑草の発生は慣行の敷きわらと差はないが、マルチムギにおいてはナメクジの発生により果実表面に傷ができ、秀品率が下がった。枯れ上がりは天候により差があり思うような時期に枯れ上がらなかったり、繊維質が残らず敷きわらの効果が十分でない場合がでてくる。

収量においては差がないことから、敷きわら材料の確保が難しい農家や労力軽減がはかれることから普及が考えられている。

ついに出了!! ノビエ3葉期まで枯らす パワフル除草剤



■使用時期

代かき 田植え 5日後 10日後

ノビエ
2.5葉期 3葉期

北海道

使用最適期

使用
時期

東北・北陸
関東以西

使用最適期

使用
時期

ノビエ3葉期まで有効。

ただし、多年生雑草を考慮した使用最適期は
ノビエ2.5葉期頃まで。

特長

- ① 3葉期までのノビエに対して高い除草効果があり、散布適期幅が広く使いやすい除草剤です。
- ② 広範囲の雑草に効果が優れ、難防除雑草にも有効な除草剤です。
- ③ 水稻に対して高い安全性があります。
- ④ 環境への影響が少ない除草剤です。

新発売

水稻用初・中期一発処理除草剤

プロスパー®

1㊦粒剤51・A1㊦粒剤36

(関東・北陸以西用)

(北海道・東北用)



●使用前にはラベルを読んでください ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください



JAグループ

農 協

全 農®

経済連

◎は登録商標です。

自然に学び 自然を守る



クミアイ化学工業株式会社

本社：〒110-91 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5131

トモノアグリカの除草剤

水稲用 エリジャン[®] 乳剤

チバガイギー

ホクト[®] 1キ口粒剤

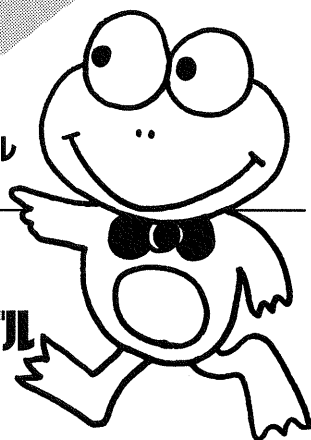
チバガイギー

ユニハーフ[®] フロアブル

畑作用 ゲザン[®] フロアブル

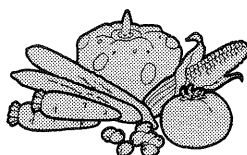
ゲザプリム[®] 50・フロアブル

デュアール[®] 乳剤



株式会社トモノアグリカ

静岡市春日2丁目12-25



勢揃いした シオノギの畑作用除草剤

●長いつき合い、信頼のパートナー ●多くの作物に使える除草剤

トレファノサイド[®] *乳剤
粒剤2.5

* ダウ・エランコ商標

●ベストコンビでパワーアップ ●粒剤タイプの野菜・畑作用除草剤

コンボラル[®]

®・登録商標

●だいず、飼料用とうもろこしの除草剤

シオノギ

フィールドスター[®] 乳剤

新発売



シオノギ製薬

大阪市中央区道修町3-1-8 〒541

■使用前に説明書などを必ず読み、記載事項を守ってください。

'97.4.作成B52

平成 8 年度非農耕地関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 8 年度非農耕地関係除草剤・生育調節剤 試験成績の報告と検討が行われた。検討の
試験成績検討会は、平成 9 年 1 月 23 日に植調会 結果、試験成績に対する判定は次表のとおりで
館において開催された。検討会で除草剤 29 剤 ある。
(124 点), 生育調節剤 3 剤 (17 点) について

平成 8 年度 非農耕地関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤及び判定結果一覧表

A. 除 草 剤

薬 剤 名 (委託者名)	有効成分およ び含有量 (%)	種 類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比) 比較薬剤	今 回 判 定	判 定 内 容
1. DKH-628 フロアブル (デュボン)	DPX-R64 ……………11% 既知化合物…28%	適 新	植調岩手, 埼玉蚕試, 植調研, 岐 阜畜試, 福 岡豊前. (5)	〔雑草全般〕 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50, 75, 100ml<10>; 茎葉処理. 比) タッチダウン; 100ml <10>.	継	継) 成分未公開.
2. DCMU 微粒 (保土谷アグロ ス)	DCMU ……3%	適 継	植調研北海 道, 植調研, 植調福岡第 一. (3)	〔ゼニゴケ〕 生育期; 500, 750, 1,000 g; 茎葉・土壌処理.	実 ・ 継	実)〔ゼニゴケ〕 ・生育期. 10 g/m ² . 茎葉・土壌処理. 継) 低薬量での効果について.
3. F-9511C エアゾル (明治製菓)	ピアラホス ……………1.25%	適 継	植調研北海 道, 植調研, 植調岡山, 植調福岡第 一. (4)	〔雑草全般(但し大型多年生 雑草は除く)〕 夏期, 生育期(草丈30cm以 下); 8~10ml/m ² ; 茎葉 処理.	実 ・ 継	実)〔雑草全般〕 ・生育期(草丈30cm以下). 8~10ml/m ² . 茎葉処理. 注) ハウス周り, 庭等で使用 する. 継) 効果の確認.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新継	試験実施 場所 (数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
4. GL-20 液 〔武田薬品工業〕	ピアラホス ……………0.4%	適 新	植調研北海道, 植調岩手, 植調岡山, 岡山北部, 植調福岡第一. (6)	〔ゼニゴケ〕 雑草生育期; 50, 75, 100 ml/m ² <原液散布>; 茎葉 処理.	実 ・継	実)〔ゼニゴケ〕 ・生育期. 75~100ml/m ² <原液散布>. 茎葉処理. 継) ゼニゴケに対する低薬量で の効果の確認.
5. Hoe-86610 液 〔ハヤブサ普及 会(事; ヘキ スト・シェー リング・アグ レボ)〕	グルホシネート ……………8.5%	適 継	植調研北海道, 植調十勝, 植調研, 奈良農試, 岡山北部, 植調福岡第一. (6)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 100, 150, 200ml<10 ~15>; 茎葉処理. 比) ハービー液; 75ml <10~15>.	実	実)〔一年生雑草, カモガヤ, ギシギシ, クローバー, タン ポポ, ヨモギ, スギナ等多年 生雑草〕 ・生育期(草丈30cm以下). 50~100ml(一年生), 100~200ml(多年生) <10~15l>/a. 茎葉処理.
6. HW-702 粒 〔保土谷アグロ ス〕	イソウロン ……………2.5% DPA……………15%	適 継	植調研北海道, 植調岩手, 植調研, 長野畜試, 岐阜畜試, 植調熊本第二. (6)	〔雑草全般〕 雑草発生前~雑草生育期 (草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000g; 土壌処 理. 比) クサブランカー粒; 1,500g.	実 ・継	実)〔一年生雑草, カモガヤ, チガヤ, ギシギシ, クローバ ー, タンポポ, ヨモギ, セイ タカアワダチソウ等多年生雑 草〕 ・発生前~生育期(草丈30cm 以下). 1,500~2,000g/a. 土壌処理. 継)・ススキ, オギに対する効 果について. ・低薬量での効果について.
7. HW-802 粒 〔保土谷アグロ ス〕	未公開 A 剤 ……………3% 未公開 B 剤 ……………4%	作 新	植調研. (1)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前および雑草生育 期(草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500g.	—	
		適 新	植調研北海道, 植調岩手, 岐阜畜試, 植調熊 本第二. (4)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前~雑草生育期 (草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000g; 土壌処 理. 比) クサブランカー粒; 1,500g.	継	継)成分未公開.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 I>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
8. HW-803 粒 〔保土谷アグロス〕	未公開 A剤 ……………1.5% 未公開 B剤 ……………6% 未公開 C剤 ……………3%	作 新	植調研. (1)	〔一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ〕 雑草発生前および雑草生育期(草丈20cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500 g.	—	
		適 新	植調研北海道, 植調岩手, 長野畜試, 植調熊本第二. (4)	〔一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ〕 雑草発生前〜雑草生育期(草丈20cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500 g.	継	継) 成分未公開.
9. HW-804 粒 〔保土谷アグロス〕	未公開 A剤 ……………2% 未公開 B剤 ……………5% 未公開 C剤 ……………10% 未公開 D剤 ……………1.5%	作 新	植調研. (1)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前および雑草生育期(草丈20cm以下); 750, 1,000, 1,500 g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500 g.	—	
		適 新	植調研北海道, 植調岩手, 長野畜試, 植調熊本第二. (4)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前〜雑草生育期(草丈20cm以下); 750, 1,000, 1,500 g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500 g.	継	継) 成分未公開.
10. HW-953H 粒 〔保土谷アグロス〕	DCMU…………6% DCBN…………3% シアナジン…2%	適 継	植調研北海道, 植調岩手, 植調研, 長野畜試, 島根農試, 植調熊本第二. (6)	〔一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ〕 雑草発生前〜雑草生育初期(草丈20cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処理. 比) クサブランカー粒; 1,500 g.	実・ 継	実) 〔一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ〕 • 発生前〜生育初期(草丈20cm以下). 1,500~2,000 g/a. 土壌処理. 継) 低薬量での効果の確認.
11. HW-963 粒 〔保土谷アグロス〕	未公開 A剤 ……………2.5% 未公開 B剤 ……………8% 未公開 C剤 ……………3%	作 新	植調研. (1)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前および生育期(草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処理.	—	

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
11. HW-963 粒 (つづき) 〔保土谷アグロ ス〕		適 新	植調研, 植 調福岡第一. (2)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草発生前および生育期 (草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処 理.	継	継) 成分未公開.
12. MDBA 粒 〔エス・ディー ・エス パイ オテック〕	MDBA...2.5%	適 継	植調研北海 道, 植調研, 岐阜畜試, 島根農試, 植調熊本第 二. (5)	〔広葉雑草全般〕 広葉雑草生育初期(草丈 20cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処 理.	実 ・ 継	実) 〔広葉雑草全般, スギナ〕 ・生育初期(草丈20cm以下). 1,500~2,000 g/a. 土壌処理. 継) 低薬量での草種について.
13. MON-96A 液 〔日本モンサ ント〕	グリホサートアン モニウム塩...41%	適 新	植調研北海 道, 植調十 勝, 植調研, 奈良高原, 植調福岡第 一, 植調熊 本第二. (6)	〔雑草全般〕 雑草生育期(草丈100cm程 度); 50, 100ml<2.5, 5>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 50ml<2.5>.	継	継) ・効果の確認. ・翌春の再生防止効果につい て.
		適 新	植調岩手, 植調研, 奈 良高原, 植 調福岡第一. (4)	〔スギナ〕 スギナ生育期(草丈20~25 cm程度); 150 ml<2.5, 5>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 200 ml<5>.		
14. MRS-195 液 〔MRS普及会〕	グリホサートイソ プロピルアミン塩41%	適 継	植調研北海 道, 植調岩 手, 植調研, 植調広島, 植調熊本第 二. (5)	〔雑草全般〕 春~夏期, 雑草生育期(草 丈50cm以下); 50, 75, 100 ml<10>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 100 ml.	実	実) 〔雑草全般(スギナを除 く)〕 ・生育期(草丈50cm以下). 50~100ml<10 l>/a. 茎葉処理.
15. MRS-295 液 〔MRS普及会〕	グリホサートイソ プロピルアミン塩20% MDBA イソプロ ピルアミン塩10%	適 継	植調研北海 道, 植調岩 手, 植調研, 植調広島, 植調熊本第 二. (5)	〔雑草全般, スギナ〕 春~夏期, 雑草生育期(草 丈50cm以下); 75, 100, 150 ml<10>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 100 ml.	実 ・ 継	実) 〔一年生雑草, カモガヤ, チガヤ, ギンギシ, クローバ ー, タンポポ, ヨモギ, セイ タカアワダチソウ, スギナ等 多年生雑草〕 ・生育期(草丈50cm以下). 75~150ml<10 l>/a. 茎葉処理. 継) スギナに対する効果の確認.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
16. NC-371 粒 〔日本サイアナ ミッド, 日産 化学工業〕	シアナジン…10% DCBN…5%	適 継	植調研北海 道, 植調岩 手, 埼玉蚕 試, 植調研, 岡山北部, 植調熊本第 二. (6)	〔雑草全般〕 雑草生育初期～生育盛期 (草丈30cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g. 比) プリマトールAD粒; 2,000 g.	実 ・継	実) 〔一年生雑草, カモガヤ, クローバー, ヨモギ, セイタ カワダチソウ, スギナ等多 年生雑草(但しススキ, チガ ヤを除く)〕 ・生育期(草丈30cm以下). 1,500~2,000 g/a. 土壌処理. 継) 草種と低薬量について.
17. NC-372 粒 〔日産化学工業〕	イソウロン…3% テトラピオン ……………4.5%	適 継	植調研北海 道, 植調岩 手, 埼玉蚕 試, 植調研, 岡山北部, 植調熊本第 二. (6)	〔雑草全般〕 雑草生育初期～生育盛期 (草丈50cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g. 比) エルボタン粒.	実 ・継	実) 〔一年生雑草, 多年生広葉 雑草(但しスギナを除く)〕 ・生育期(草丈50cm以下). 1,500~2,000 g/a. 土壌処理. 継) ・草種と処理時期について. ・低薬量について.
18. NH-501 フロアブル 〔ゼネカ, 日本 農薬〕	ET-751 ……………0.19% グリホサートトリ メシウム塩 ……………28.5%	適 継	植調十勝, 植調研, 岐 阜畜試, 山 口徳佐, 福 岡豊前, 植 調熊本第二. (6)	〔一年生雑草, 多年生雑草 (チガヤ, ヨモギ, ハルジ オン, ギシギシ, タンポポ, コヒルガオ等)〕 春～夏期, 雑草生育期(草 丈30cm以下); 40, 50, 60 ml<10>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 40ml<10>.	実 ・継	実) 〔一年生雑草, チガヤ, ハ ルガヤ, ヨモギ, クローバー, ギシギシ等多年生雑草〕 ・生育期(草丈30cm以下). 40~60 ml<10>/a. 茎葉処理. 継) 低薬量での効果の確認.
19. NZ-612 液 〔ゼネカ, 日本 農薬〕	グリホサートトリ メシウム塩 ……………0.45%	適 新	植調十勝, 植調岩手, 植調研, 植 調福岡第一, 植調熊本第 二. (5)	〔雑草全般〕 生育期(草丈50cm以下); 5,000, 10,000 ml<原液> ; 茎葉処理. 比) タッチダウン; 50, 100ml<5, 10>.	実 ・継	実) 〔雑草全般(スギナを除 く)〕 ・生育期(草丈50cm以下). 50~100ml<原液>/m ² . 茎葉処理. 注) ハウス周り, 庭等で使用 する. 継) 効果の確認.
20. S-3065 液 〔住友化学工業〕	ペラルゴン酸 ……………1.5% カプリン酸 ……………1.5%	適 新	植調研北海 道, 植調岩 手, 植調研, 植調広島, 植調熊本第 二. (6)	〔一年生雑草〕 春期雑草生育期, 秋期雑草 生育期(草丈20cm以下); 50, 75, 100ml/m ² <原液 散布>; 茎葉処理.	継	継) 効果の確認.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今 回 判 定	判 定 内 容
21. S-878 顆粒水和 〔住友化学工業〕	グルホシネート ……………12% S-482 ……………1.2%	適 継	植調十勝, 植調岩手, 植調研, 島 根農試, 植 調熊本第二. (5)	〔雑草全般〕 春期雑草生育期(草丈30cm 以下); 50, 100, 150, 200g<10~20>; 茎葉処理. 比) プリグロックスL液; 100ml<10>.	実 ・ 継	実) 〔一年生雑草, チガヤ, ヨ モギ, ギンギシ, スギナ等多 年生雑草〕 ・生育期(草丈30cm以下). 50~100g(一年生), 100~200g(多年生)<10 ~20l>/a. 茎葉処理. 継) 効果の確認.
22. SC-224 液 〔タッチダウン 協議会(事; ゼネカ)〕	グリホサートトリ メシウム塩 ……………38%	適 継	新潟畜試, 植調研, 三 重農技セ, 島根農試, 福岡豊前. (5)	〔雑草全般〕 雑草生育期(草丈50cm以下) ; 50, 60, 80ml<0.4>; 茎葉処理. 比) タッチダウン; 50ml <10>.	実 ・ 継	実) 〔雑草全般(スギナを除 く)〕 ・生育期(草丈50cm以下). 50~100ml<0.4~1l(専 用散布器具, 専用ノズル使 用)>/a. 茎葉処理. 継) 低薬量, 少水量散布での効 果の確認.
23. ULV-05 液 〔日本モンサント〕	グリホサート ……………8% 既知化合物 ……………0.75%	適 新	植調岩手, 埼玉畜試, 植調研, 三 重農技セ, 植調福岡第一. (5)	〔雑草全般, スギナ〕 雑草生育期(草丈100cm程 度); 400, 500, 600ml <原液散布>; 茎葉処理.	継	継) ・成分未公開. ・処理時期について.
24. WOC-01 液 〔三共〕	グリホサートイソ プロピルアミン塩 ……………41%	適 継	植調十勝, 新潟畜試, 長野畜試, 三重農技セ, 山口徳佐, 植調熊本第二. (6)	〔雑草全般〕 雑草生育期; 50, 75, 100 ml<2.5>; 茎葉処理. 比) ラウンドアップ; 100 ml<2.5>.	実 ・ 継	実) 〔雑草全般(但しスギナを 除く)〕 ・生育期(草丈30cm以下). 50~100ml<2.5(専用ノ ズル使用), 10l>/a. 茎葉処理. 継) ・少水量散布での効果の確認. ・処理時期について.
25. WOC-02 液 〔三共〕	グリホサートナトリ ウム塩……………11.5% エンドタルニナ トリウム塩 ……………8.5%	適 継	植調十勝, 新潟畜試, 長野畜試, 三重農技セ, 植調熊本第二. (5)	〔一年生雑草, 多年生雑草 (但し, 大型多年生を除 く)〕 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 100, 150, 200ml<10>; 茎葉処理. 比) プリグロックスL液; 100ml<10>.	実 ・ 継	実) 〔一年生雑草, チガヤ, ギ ンギシ, ヨモギ, クローバー 等多年生雑草(但しスギナを 除く)〕 ・生育期(草丈30cm以下). 100~200ml<10l>/a. 茎葉処理. 継) ・スギナに対する効果の確認. ・処理時期について.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
25. WOC-02 液 (つづき) 〔三共〕		適 継	植調岩手, 植調研, 山 口徳佐. (3)	〔スギナ〕 春期および夏秋期, スギナ 生育期(草丈20cm程度); 100, 150, 200ml<10>; 茎葉処理. 比) プリグロックスL液; 100ml<10>.		
26. アシュラム 顆粒水和 〔ロース・プー ラン油化アグ ロ〕	アシュラム…80%	適 継	植調研, 島 根農試, 岡 山北部, 植 調福岡第一. (4)	〔一年生雑草, 多年生広葉雑 草, スギナ〕 雑草生育期(草丈20cm以下) ; 100, 150, 200g/a<10 ~20>; 土壌・茎葉処理.	実	実)〔一年生雑草, 多年生広葉 雑草, スギナ〕 ・生育期(草丈20cm以下). 100~200g<10l>/a. 茎葉処理.
27. グリホサート 液 〔日本モンサント〕	グリホサートイソ プロピルアミン塩 ……………41%	適 継	植調岩手, 植調研, 岐 阜畜試, 岡 山北部. (4)	〔スギナ〕 春期, 雑草生育期(草丈20 cm程度); 200ml<2.5, 5>, 連年施用(根絶効果) ; (H7; 200ml<5>) →200ml<5>; 茎葉処 理. 比) パスタ液; 100ml <10>.	実 ・ 継	実)〔スギナ〕 ・生育期(草丈20cm程度). 200ml<2.5(専用ノズ ル使用), 5l>/a. 茎葉処理. 継) 連年施用について.

B. 生育調節剤

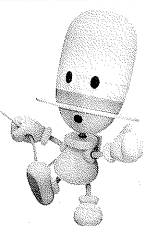
薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計〔対象雑草; 目的〕 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比〕比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
1. DK-50L 液 〔ダイキン化成 品販売〕	2, 2, 3, 3-テ トラフルオロプロ ピオン酸ナトリウ ム……………25%	適 継	植調岩手, 草地試, 植 調研. (3)	〔イネ科雑草; 草丈抑制によ る刈取り軽減〕 発生前, 発生始期~生育初 期; 80, 100, 120ml; 茎 葉・土壌処理.	実 ・ 継 (前 年 通 り)	実)〔イネ科, アズマネザサ, カヤツリグサ科; 伸長抑制に よる刈取り軽減〕 ・生育期(草丈40~50cm). 80~120ml<10~15l>/a. 茎葉処理. 継) 処理時期について.
2. GRH-732 粒 〔保土谷アグロ ス〕	既知化合物…3% 既知化合物 ……………0.2%	適 継	植調研北海 道, 草地試, 植調研, 岡 山北部, 植 調福岡第一, 植調熊本第 二. (6)	〔雑草全般(イタドリは除く) ; 抑草効果〕 発生始期~生育期(草丈30 cm以下); 1,000, 1,500, 2,000, 3,000g; 土壌処 理.	継	継) 成分未公開.

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計 (対象雑草; 目的) 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比) 比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
3. KUH-913 液 〔クミアイ化学 工業〕	ビスピリバック Na 3%	適 継	植調岩手, 草地試, 植 調研, 長野 畜試, 岐阜 畜試, 島根 農試, 岡山 北部, 植調 熊本第二. (8)	〔雑草全般; 抑草効果〕 刈り込み後再生期(草丈10 ~40cm); 50, 100ml <10>, 生育期又は刈り込 み後再生期(草丈10~40cm) →第1回処理後40~50日後 (無刈り取り); 70ml → 70ml<10>; 茎葉処理.	実 ・ 継	実) 〔雑草全般; 伸長抑制によ る刈取り軽減〕 1回処理 ・生育期あるいは刈取り後 (草高30~50cm). 50~100ml<10l (但し50 mlでは3~10l)>/a. 茎葉処理. 2回処理 ・生育期あるいは刈取り後 (草高30~50cm) → 1回目 処理40~50日後. 70ml<10> → 70ml<10> /a. 茎葉処理. 継) ・散布水量について, ・低薬量での2回処理につ いて.

C. 除 草 剤 (多年生雑草根絶)

薬 剤 名 〔委託者名〕	有効成分および含有量 (%)	種類 新 継	試験実施 場所 (数)	試験設計 (対象雑草) 処理時期; 散布薬量<水量 l>/a; 処理方法 比) 比較薬剤	今回 判定	判 定 内 容
1. NC-372 粒 〔日本化学工業〕	イソウロン... 3% テトラピオン 4.5%	適 新	滝川畜試, 植調岩手, 植調研, 三 重農技セ, 植調熊本第 二. (5)	〔雑草全般〕 春期, 生育初期~生育期 (草丈50cm以下); 1,000, 1,500, 2,000 g; 土壌処 理.	継	継) 効果の確認.
2. グリホサート 液 〔日本モンサント〕	グリホサートイソ プロピルアミン塩 41%	適 継	道南農試, 植調岩手, 植調研, 岐 阜畜試, 岡 山北部. (5)	〔スギナ〕 春期および夏秋期, スギナ の生育盛期(草丈20cm程度) ; 25倍液<2.5, 3.5, 5>; 茎葉処理. 比) パスタ液; 100ml <10>.	継	継) 効果の確認.

え!? スギナも ラウンドアップ®



雑草を根まで枯らすのが、
ラウンドアップです。
スギナを根まで枯らしてしまえば、
長期間抑えられます。

ラウンドアップ®



ラウンドアップでスギナを枯らす
4つのポイント。

- (1) 25倍液をしっとり濡れるように。
- (2) 5月頃が最適。
(草丈20cmくらいが目安)
- (3) 他の草と混成しているところでは、
スギナに着くよう丁寧に。
- (4) 散布後の雨に注意。

※詳しい資料をご希望の方は、ハガキ
に資料請求券を貼付して、〒101-91
千代田区神田郵便局私書箱195号
「日本モンサントお客様係」まで。

資料請求券
R-100025

©モンサントカンパニー登録商標

水田用除草剤

初期一発除草剤

シーゼットフロアブル
アワードフロアブル
カルシヨットフロアブル

初期除草剤

レトリフロアブル
一振田助フロアブル

移植前除草剤

シング乳剤

は、ピリブチカルブ®が使用されています。

ICI

大日本インキ化学工業株式会社
東京都中央区日本橋3-7-20 ディックビル

新発売

最初がかんじん!!

**10アール当り
1kgの散布**

特 長

- ノビエ、ホタルイをはじめ各種多年生雑草に有効。
- 初期除草剤、体系処理の前処理として安定した効果。
- 10アール当り1kgの散布で安定した除草効果。
- 土壌条件などの影響が少なく全地域で安心して使える。

ノビエからホタルイまで、体系除草の初期剤として、また一発処理の前処理剤として、安定した効果。
しかもコンパクトな1キロ粒剤です。

水田初期除草剤

パデ"ホープ"1 キロ粒剤



JAグループ

農 協



経済連

(各)は登録商標です



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本 社：東京都台東区池之端1-4-26 電話110-91 TEL03(3822)5131

①使用前にはラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③小児の手の届く所には置かないでください。

平成8年度 落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成8年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成9年1月28日(火)に土浦第一ホテル(茨城県土浦市)において開催された。

この検討会には、試験場関係者90名、委託関係者48名ほか、計145名の参集を得て、除草剤

31薬剤(175点)、生育調節剤14薬剤(60点)、普及適用性除草剤11薬剤(59点)、同生育調節剤1薬剤(3点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成8年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 (委託者名)	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中(数)>	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. グリホサート液剤 (ラウンドアップ)	グリホサートイソプロピルアミン塩………41%	ブドウ	<7年度> 適用性 継 続	岩手園試大迫，秋田果試天王，大分農技。(3)	〔雑草全般；処理時期の拡大〕 秋冬期(落葉後11月中下旬)， 雑草生育期(草丈30cm以下) ； 25ml<2.5, 5.0l>， 50ml<5.0l> ； 専用ノズル使用 ； 茎葉処理。 対；ブリグロックスL液剤 80ml<10l>。	実	実)〔雑草全般；秋冬期処理〕 ・秋冬期(草丈30cm以下)。 ・25~50ml/a<2.5~5.0l/a>(専用ノズル使用)。 ・茎葉処理。
		ナシ	<7年度> 適用性 継 続	<兵庫北部農技>，長崎果試，大分農技。(3)			
		オウトウ	<7年度> 適用性 継 続	北海道中央農試，青森畑作園試，福島果試。(3)			
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当 場所 ＜＞は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. グリホサート 液剤 (つづき)		ブドウ	＜7年 度＞ 適用性 継 続	翌春調査； 岩手園試大 迫，秋田果 試天王，＜大 阪農技＞， ＜福岡農総 試園研＞。 (4)	〔スギナ；草種の拡大〕 (翌春の再生防止) 春期および夏期， 生育旺盛時（草丈20cm 以下） ； 100ml＜2.5 l＞， 140ml＜3.5 l＞， 200ml＜2.5, 5.0 l＞ ； 専用ノズル使用 ； 茎葉処理。 対：パスタ液剤 100ml＜10 l＞。	実・継	実)〔スギナ〕 ・春～夏期（スギナ生 育期）。 ・200ml／a＜2.5～ 5 l／a＞（少水量散 布は，専用ノズル使 用）。 ・茎葉処理。 継)・地下茎に対する効 果の確認。
		ナシ	＜7年 度＞ 適用性 継 続	翌春調査； 広島県立大 学，埼玉園 試，鳥取園 試，＜高知 農技果試＞， 熊本農研果 研。 (5)			
		ブドウ	適用性 継 続	岩手園試大 迫，秋田果 試天王，大 阪農技。 (3)			
		ナシ	適用性 継 続	広島県立大 学，埼玉園 試，鳥取園 試，熊本農 研果研。 (4)			
〔日本モンサント〕							
2. AK-01 液剤 (グリホエキス) (エイトアップ) (サンフーロン)	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………41%	ナシ	適用性 継 続	広島県立大 学，秋田果 試，石川農 総試，福井 農試，三重 農技。 (5)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 25, 50ml＜5, 10 l＞ ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 25ml＜5 l＞。	実	実)〔雑草全般（スギナ を除く）〕 ・春～夏期，雑草生育 期（草丈30cm以下）。 ・一年生雑草対象： 25～50ml， 多年生雑草対象： 50～100ml／a， ＜5～10 l／a＞。 ・茎葉処理。
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率（％）	作物名 （品種）	試験の種類 新・継続 の別	試験担当場所名 <は中 >間または実 施中（数）	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
2. AK-01 液剤 （つづき）			適用性 継 続	山形砂丘地 農試，福井 農試，島根 農試，香川 農試府中， 大分農試。 （5）	〔多年生雑草全般（スギ ナを除く）〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 50， 100 ml < 5， 10 l > ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50ml <10 l>。		
〔TAC普及会〕			薬 害 継 続	岩手園試， 石川農総試。 （2）	〔薬害試験；2年目〕 ①春期および夏期 200ml→200ml， ②春期または夏期 500ml <10 l> ； 土壌処理（前年の供 試樹を使用）。		
3. BGX-816 水溶剤 （インパルス水 溶液）	ビアラホス ……………8％ グリホサート ……………16％	ナ シ	適用性 継 続	北海道中央 農試。 （1）	〔雑草全般；多年生雑草 について効果確認〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 60， 80， 100 g <10 l>； 茎葉処理。 対：プリグロックL液 剤 80ml <10 l>。	実	（前年どおり） 実）〔ブドウ，ナシ，モ モ：雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育 期（草丈30cm以下）。 ・一年生雑草対象： 40～60 g， 多年生雑草対象： 60～100 g/a， <10 l/a>。 ・茎葉処理。
〔インパルス普 及会；明治製 菓〕							
4. DKH-628 フロアブル剤	DPX-R64 （未公開） ……………11％ 既知化合物 ……………28％	ブドウ	適用性 新 規	長野果試， 山梨果試， 岡山農試， 長崎果試， 熊本農研果 研。 （5）	〔雑草全般〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 40， 50， 60ml <10 l>； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 50ml <10 l>。	継	継）・成分未公開。 ・効果，薬害の確認。
			薬 害 新 規	愛知農総試 園研，岡山 農試。 （2）	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml， ②春期または夏期 300 ml <10 l>。 ； 土壌処理。		
（つづく）							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当 場所名 <は中 間または実 施中> (数)	試験設計 (対象雑草; ねらい) 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
4. DKH-628 フロアブル剤 (つづき)		ナ シ	適用性 新 規	茨城農総園 研, 埼玉園 試, 長野南 信農試, 兵 庫北部農技, 鳥取園試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 40, 50, 60ml <10 l>; 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 50ml <10 l>.		
〔デュポン〕			薬 害 新 規	埼玉園試, 鳥取園試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120ml, ②春期または夏期 300ml <10 l> ; 土壌処理.		
5. Mon-8794 液剤 (ボラリス)		オウト ウ	<7年 度> 適用性 継 続	北海道中央 農試. (1)	〔一年生雑草全般; 寒地 への拡大〕 (翌春の抑草効果) 秋冬期 (落葉後11月中 下旬), 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 30ml <2.5, 5.0 l>, 40ml <2.5 l>, 50ml <2.5, 5.0 l> ; 専用ノズル使用 ; 茎葉処理. 対: 慣行薬剤.	実	実) 〔雑草全般 (スギナ を除く)〕 ・秋冬期, 雑草生育期 (草丈30cm以下). ・30~50ml <2.5 (専用ノズル使用) ~5 l/a>. ・茎葉処理.
〔ボラリス普及 会; 日本モン サント〕							
6. MON-93A 液剤	グリホサートア ンモニウム塩33%	ブドウ	適用性 新 規	岩手園試大 迫, 栃木農 試, 奈良農 試果樹, 島 根農試, 大 分農技. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 25, 50ml <2.5, 5.0 l> (専用ノズル 使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5 l>.	継	継) ・効果, 薬害の確認.
(つづく)			薬 害 新 規	岩手園試大 迫, 島根農 根農試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 400 → 400ml, ②春期または夏期 1,000ml <10 l> ; 土壌処理.		

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継続 の 別	試験担当 場所名 <は中 間または実 施中 (例)	試験設計 (対象雑草; ねらい) 処理時期: 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
6. MON-93A 液剤 (つづき)		ナ シ	適用性 継 続	宮城園試, 群馬園試, 富山農技果 試, 徳島果 試県北. (4)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 25, 50ml < 2.5, 5.0 l> (専用ノズル 使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml < 2.5 l>.	実 ・ 継	実) 〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・25~50ml < 2.5 ~ 5 l/a>, (専用ノ ズル使用). ・茎葉処理. 継) ・薬害試験の継続.
			薬 害 新 規	埼玉園試, 鳥取園試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 400 → 400 ml , ②春期または夏期 1,000 ml < 10 l> ; 土壌処理.		
		モ モ	適用性 新 規	広島県立大 学, 秋田果 試, 群馬園 試, 長野南 信農試, 愛 媛果試鬼北. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 25, 50ml < 2.5, 5.0 l> (専用ノズル 使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml < 2.5 l>.		
			薬 害 新 規	広島県立大 学, 長野南 信農試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 400 → 400 ml , ②春期または夏期 1,000ml < 10 l> ; 土壌処理.		
7. NH-501 フロアブル剤 (サンダーボル ト)	ET-7510.19% グリホサートト リメシウム塩28.5%	畑地一 般, 非 農耕地	作用性 継 続	植調研. (1)	〔一年生雑草および小型 多年生雑草〕 詳細は, 別途協議.	継	継) ・効果, 薬害の確認.
		ブドウ	適用性 新 規	秋田果試, 秋田果試天 王<春→秋 冬>, 栃木 農試, 石川 砂丘地農試, 兵庫中央農 技, 佐賀果 試. (6)	〔一年生雑草および小型 多年生雑草〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 40, 50, 60ml < 10 l>; 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 40ml < 10 l>.		

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継続 の別	試験担当場所名 <は中 間または実 施中 数>	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回 判定	内 容
7. NH-501 フロアブル剤 (つづき)		ブドウ	薬害 新規	秋田果試天王，石川砂 丘地農試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml， ②春期または夏期 300 ml <10 l> ； 土壌処理.		
		ナシ	適用性 継続	岩手園試， 福島果試， 千葉農試， 福井農試， 鳥取園試. (5)	〔一年生雑草および小型 多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 40，50，60 ml <10 l>； 茎葉処理. 対：タッチダウン液剤 40 ml <10 l>.	実	実）〔雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育 期（草丈30cm以下）. ・40～60 ml <10 l/a>. ・茎葉処理.
			薬害 継続	宮城園試， 茨城農総園 研. (2)	〔薬害試験；2年目〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml ②春期または夏期 300 ml <10 l> ； 土壌処理（前年の供 試樹を使用）.		
		モモ	適用性 新規	群馬園試， 富山農技果 試，愛地農 総試園研， 兵庫中央農 技，徳島果 試県北. (5)	〔一年生雑草および小型 多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 40，50，60 ml <10 l>； 茎葉処理. 対：タッチダウン液剤 40 ml <10 l>.	継	続）・効果，薬害の確認.
			薬害 新規	富山農技果 試，兵庫中 央農技. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml， ②春期または夏期 300 ml <10 l> ； 土壌処理.		
							(つづく)

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継別の	試験担当場所名 < > は中間または実施中 (%)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今回判定	内 容
7. NH-501 フロアブル剤 (つづき)		ウ メ	適用性 新 規	茨城農総園研，群馬園試，奈良農試果樹，広島農技果研，徳島果試県北。 (5)	〔一年生雑草および小型多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 40, 50, 60 ml <10 l>； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40 ml <10 l>。		
			薬 害 新 規	茨城農総園研，徳島果試県北。 (2) 自主；群馬園試（3回処理）	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml， ②春期または夏期 300 ml <10 l> ； 土壌処理。		
		カ キ	適用性 新 規	新潟園試，岐阜農総研，島根農試，高知果試，福岡農総試験園研。 (5)	〔一年生雑草および小型多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 40, 50, 60 ml <10 l>； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40 ml <10 l>。		
			薬 害 新 規	岐阜農総研，高知果試。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120 ml， ②春期または夏期 300 ml <10 l> ； 土壌処理。		
		ク リ	適用性 新 規	広島県立大学，茨城農総園研，岐阜中山間地農試，熊本農研果研。 (4)	〔一年生雑草および小型多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 40, 50, 60 ml <10 l>； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40 ml <10 l>。		
(つづく)							

〔オルゼット協
議会；ゼネカ〕

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続の 別	試験担当 場所 ＜＞は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
9. SC-224 液剤 (タッチダウン)	グリホサートトリメシウム塩 ……………38%	果樹一般	作用性 継 続	植調研. (1)	〔雑草全般；散布水量〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 40ml＜2.5, 5.0 l， 専用ノズル＞， 40＜5, 10 l 通常ノズル＞；茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 50ml＜10 l＞。	実	（前年どおり） 実）ブドウ・ナシ・モモ ・ウメ・オウトウ・カキ・クリ・イチジク・ キウイフルーツ 〔雑草全般（スギナを除く）〕 ・春～夏期，雑草生育期（草丈30cm以下）。 ・一年生雑草対象： 20～40ml／a， 多年生雑草対象： 40～60ml／a， ＜2.5～5（専用ノズル使用），5～10 l／a＞。 ・茎葉処理。 注）・砂土，砂壤土での高濃度の使用は薬害の可能性があるので注意する。
		ブドウ	適用性 継 続	青森畑作園試. (1)	〔雑草全般〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 20, 40, 60ml＜10 l＞（20ml は一年生雑草対象） ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液剤 50ml＜10 l＞。		
		ナ シ	適用性 継 続	青森畑作園試. (1)	〔雑草全般；散布水量〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 20, 40, 60ml＜10 l＞（20ml は一年生雑草対象） ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液剤 50ml＜10 l＞。		
				自主；兵庫 北部農技.			
		オウトウ	適用性 継 続	岩手園試， 山形園試， 福島果試. (3)	〔雑草全般；散布水量〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 20ml＜2.5, 5.0 l＞， 40＜2.5 l＞ 60＜2.5, 5.0 l＞ （20ml は一年生雑草対象） （専用ノズル使用）。 ； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40ml＜10 l＞。		
		ウ メ	適用性 継 続	宮城園試， 群馬園試， 静岡柑試落葉. (3)			
ク リ	適用性 継 続	茨城農総園研，岐阜中山間地農試，熊本農研球磨. (3)					

(つづく)

(つづく)

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継続 の別	試験担当場所名 < >は中間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回 判定	内 容
9. SC-224 液剤 (つづき)		イチジク	適用性 継 続	広島県立大学, 愛知農 総試園研, 福岡農総試 豊前. (3)			
		ブドウ	適用性 継 続	秋田果試天王, 栃木農 試, 香川農 試府中, 大 分農技. (4)	〔雑草全般; 散布水量〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) , 40ml<0.4, 1.0l>, 50 <1.0l> 60 <0.4, 1.0l> (専用散布器・ノズル 使用) 対: タッチダウン液剤 40ml<10l>.	継	継)・効果, 薬害の確認.
		ナ シ	<7年 度> 適用性 継 続	宮城園試, <埼玉園 試>, 鳥取 園試. (3)	〔雑草全般; 処理時期の 拡大〕 (翌春の抑草効果) 秋冬期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 20, 30, 40ml <10 l>; 茎葉処理. 対: ポラリス液剤 40ml<10l>.	継	継)・効果の確認.
			適用性 継 続	<千葉農 試>, <兵 庫北部農 技>, <長 崎果試>. (3)			
〔タッチダウン 協議会: ゼネ カ〕							
10. SL-160 水和剤	フラザスフロ ン……………10%	ブドウ	<7年 度> 薬 害 継 続	石川砂丘地 農試, 佐賀 果試. (2)	〔薬害試験; 2年目〕 ①秋冬期および春期 20g→20g, ②秋冬期 50g <10~15l> ; 展着剤加用 ; 土壌処理(前年の供 試樹を使用).	実・ 継	実)〔ブドウ, ナシ: 雑 草全般〕 ・秋冬~春期 (降雪期を除く), 雑草生育期 (草丈20cm以下). ・5~10g/a <10l/a>. ・展着剤加用. ・茎葉処理. 注)・砂土を除く. 継)・砂土, 砂壤土での 薬害の確認.
		ナ シ	<7年 度> 薬 害 継 続	長野南信農 試, 鳥取園 試. (2)			
〔石原産業〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <は中 間または実 施中>	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
11. SL-161 顆粒水和剤 〔石原産業〕	フラザスフロ ン……………1.3% グルホシネート ……………18.3%	ブドウ	適用性 継 続	北海道中央 農試. (1)	〔一年生雑草, 小型多年 生イネ科雑草, 多年生 広葉雑草〕 春期(草丈20cm程度) ; 25, 30, 40 g<10~ 15 l> ; 茎葉処理. 対: パスタ液剤 50ml<10~15 l>.	実・ 継	実)〔雑草全般〕 ・春期, 雑草生育期 (草丈20cm以下). ・25~40 g/a <10~15 l/a>. ・茎葉処理. 注)・砂土を除く. 継)・砂土, 砂壤土での 薬害の確認.
12. ULV-03 液剤 (ランドマスター)	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………6%	オウト ウ	適用性 新 規	宮城園試, 山形園試, 福島果試, 長野果試, 新潟園試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 程度) ; 300, 400, 500ml <原液散布: 専用散布 器使用> ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml<2.5 l (専用ノズル使用)>.	継 実	継)・効果, 薬害の確認. 実)〔ブドウ, ナシ, カ キ, モモ, クリ: 雑草 全般(スギナを除く)〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・300~500 ml/a <原液散布: 専用散 布器使用>. ・茎葉処理. 注)・低薬量では, 散 布むらが出ることに あるので注意する.
13. WOC-01 液剤 (三共グリホサ ート)	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………41%	ブドウ	適用性 新 規	秋田果試天 王, 大阪農 技, 島根農 試, 愛媛果 試, 長崎果 試. (5)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 25, 50ml<2.5, 5, 10 l>(2.5, 5 l 散布は専用ノズル使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5 l>.	継	継)・効果, 薬害の確認.
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所 名は中 間または実 施中 (効)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
13. WOC-01 液剤 (つづき)		ブドウ	適用性 新 規	岩手園試大 迫, 栃木農 試, 石川砂 丘地農試, 広島農技果 研, 香川農 試府中. (5)	〔多年生雑草全般 (スギ ナを除く)〕 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 50, 100ml < 2.5, 5, 10 l > (2.5, 5 l 散布は専用ノズル 使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml < 2.5 l >.		
			薬 害 新 規	石川砂丘地 農試, 香川 農試府中. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 200 ml → 200 ml , ②春期または夏期 500 ml < 10 l > ; 土壌処理.		
		ナシ	適用性 継 続	広島県立大 学, 石川農 総試, 三重 農技, 徳島 果試県北, 佐賀果試. (5)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 25, 50ml < 2.5, 5, 10 l > (2.5, 5 l 散布 は専用ノズル使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml < 2.5 l >	実 ・ 継	実) 〔ナシ: 雑草全般 (スギナを除く)〕 ・春～夏期, 雑草生育 期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 25～50ml/a, 多年生雑草対象 50～100ml/a < 5 l/a (専用ノズ ル及び通常ノズル), 10 l/a >. ・茎葉処理. 継) ・散布水量について.
			適用性 継 続	広島県立大 学, 青森畑 作園試, 岩 手園試, 長 野南信農試, 大分農技. (5)	〔多年生雑草全般 (スギ ナを除く)〕 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈30cm 以下) ; 50, 100ml < 2.5, 5, 10 l > (2.5, 5 l 散布は専用ノズル使 用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml < 2.5 l >.		
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <>は中間または実 施中 (数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
13. WOC-01 液剤 (つづき)		ナ シ	薬 害 新 規	新潟園試， 鳥取園試。 (2)	〔薬害試験；2年目〕 ①春期および夏期 200 ml → 200 ml， ②春期または夏期 500 ml <10 l> ； 土壌処理（前年の供 試樹を使用）。		
			適用性 新 規	広島県立大学，福島果 試，長野南 信農試，愛 知農総試園 研，岡山農 試。 (5)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 25, 50 ml <2.5, 5, 10 l>（2.5, 5 l 散布は専用ノズル使 用） ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 25 ml <2.5 l>。	継	継）・効果，薬害の確認。
			適用性 新 規	広島県立大学，長野果 試，長野南 信農試，兵 庫中央農技， 愛媛果試。 (5)	〔多年生雑草全般（スギ ナを除く）〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm 以下） ； 50, 100 ml <2.5, 5, 10 l>（2.5, 5 l 散布は専用ノズル使 用） ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50 ml <2.5 l>。		
			薬 害 新 規	静岡柑試落 葉，岡山農 試。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 200 ml → 200 ml， ②春期または夏期 500 ml <10 l> ； 土壌処理。		
〔三 共〕							

B. 生育調節剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <>は中 間または実 施中	試験設計 (対象雑草; ねらい) 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. AKD-8069 液剤 〔アグロカネシ ョウ〕	成分未公開 ……………90%	モ モ	作用性 新 規	筑波大学, 山形園試, 福島果試, 長野南信農 試, 和歌山 果園試, 北 岡山農試. (6)	〔摘花効果〕 ①開花30%時 1回散布, ②開花70~80%時 1回散布, ③開花30%時および同 70~80%の2~3日 後 2回散布 ; 100倍, 50倍液 ; 立木全面散布.	—	—
2. AKD-857 液剤 〔アグロカネシ ョウ〕	既知化合物 ……………3%	ナ シ	作用性 新 規	千葉大学, 岩手園試, 山形砂丘地 農試. (3) 自主; 筑波 大学.	〔摘花効果〕 ①開花前(フウセン状), ②満開時, ③満開後2~3日 ; 2,000倍, 1,500倍 液 ; 立木全面散布.	—	—
3. BAL-1 液剤 〔バル企画〕	2種の既知化合物の現地混合	ブドウ	作用性 新 規	大阪府立大 学. (1)	〔果実肥大促進効果〕 詳細は, 別途協議.	—	—
4. J-455 乳剤 (フィガロン) 〔日産化学工 業〕	エチクロゼート ……………20%	カ キ (西村 早生)	適用性 継 続	三重農技, 岐阜農総研, 広島農技果 研, 福岡農 総試園研. (4)	〔果実の熟期促進; 品種 拡大〕 満開70~80日後および その15~20日後; ①5,000倍液2回散布 <葉先からしたたり 落ちる程度> ; 立木全面散布.	実	実)〔カキ(富有, 西村 早生): 着色促進〕 ・満開70~80日後(生 理落果終了後)およ びその15~20日後の 2回. ・5,000倍<30~50 l/a>, ・立木全面散布.

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中 (数)>	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
5. KT-30S 液剤 (フルメット液 剤)	ホルクロルフェ ニユロン ……………0.1%	ブドウ (ピオ ーネ， 無核)	適用性 継 続	山形園試， 山梨果試， 愛知農総試 園研，岡山 農試，大分 農枝。 (5)	〔無核化ジベレリン処理 の着粒安定〕 1 回目処理；開花直前 ～満開3日後 (花房浸漬)， 2 回目処理；慣行 (果房浸漬)， ①GA 12.5 ppm のみ →GA 慣行， ②GA 12.5 ppm + KT 2 ppm →GA 慣行， ③GA 12.5 ppm + KT 5 ppm →GA 慣行， ④GA 25 ppm + KT 2 ppm →GA 慣行 (2 回目のGA処理の 参考，満開10日後，25 ppm，果房浸漬)。	実	実) 〔ブドウ(無核ピオ ーネ)：ジベレリン処 理の着粒安定〕 ・1 回目処理；開花直 前～満開3日後 (花房浸漬)， 2 回目処理；GA 単 用(果房浸漬)。 ・GA 12.5～25 ppm + KT 2～5 ppm。
		キウイ フルー ツ (ヘイ ワード)	適用性 継 続	石川砂丘地 農試，香川 農試府中， 愛媛果試， 佐賀果試。 (4)	〔果実肥大促進効果；薬 量低減〕 開花後20～30日 ； 1.0, 1.5, 2.0, 5.0 ppm <十分不着さ せる> ； 立木全面散布。	実・継	実) 〔果実肥大〕 ・開花20～30日後。 ・2～10ppm。 ・果実散布または浸漬 処理(果実散布は果 実表面に十分付着す るようにする)。 継) ・低濃度の効果確認。
6. NB-27 液剤 (フラスター液 剤)	メピコートクロ リド……………44%	ブドウ (巨峰)	適用性 継 続	長野中信農 試，山梨果 試，広島農 技果研，香 川農試府中， 長崎果試。 (5)	〔遅伸び防止効果〕 (果実品質に対する影 響) (新梢登熟率と翌春の 発芽率) 花振り防止に，新梢展 開葉7～8枚時，500 倍処理樹を用いて検討 ①満開15日後， ②満開35日後 ； 500 倍液 ； 立木全面散布。	実・継	実) 〔ブドウ(巨峰)： 遅伸び防止〕 ・満開後30～35日。 ・500 倍<15 l/a>。 ・立木全面散布。 継) ・濃度，時期，樹勢， 薬害の確認。
		ブドウ (露地， ピオー ネ)	適用性 新 規	山梨果試， 岡山農試， 福岡農総試 園研。 (3)	〔新梢伸長抑制効果〕 ①展開葉8～9枚， ②展開葉9～10枚 ； 500 倍液 ； 立木全面散布。	継	継) ・効果の確認。

(つづく)

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続の 別	試験担当 場所名 <は中 間または実 施中> (数)	試験設計 (対象雑草; ねらい) 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
6. NB-27 液剤 (つづき) 〔日本曹達〕		ブドウ (安芸 クイー ン, 有 核)	適用性 継 続	埼玉園試, 長野中信農 試, 石川砂 丘地農試, 三重農技伊 賀. (4) 自主; 秋田 果試(ノ ースレ ッド)	〔着粒増加効果; 品種の 拡大〕 展開葉8~9枚 ; 500倍液 ; 立木全面散布.	継	継)・効果の確認.
7. OKY-500 液剤 〔アルム〕	12種類の生薬抽 出物……3.5%	オウト ウ	作用性 新 規	山形園試. (1)	〔果実品質向上効果; 連 年処理〕 5/上, 5/下, 6/ 下の3回 ; 500倍, 300倍液 <1㎡当たり2l相当 量> ; 樹冠下灌水処理 ; 次年度は, 9/中よ り開始 ; 詳細は, 別途協議.	—	—
8. PDJ 液剤 〔日本ゼオン; バル企画〕	n-Propyl Dihydrojasm onate……5%	落葉果 樹	作用性 新 規	果樹試カキ ・ブドウ, 筑波大学, 千葉大学. (3)	別途協議.	—	—
		ブドウ (巨峰)	適用性 新 規	長野中信農 試, 山梨果 試, 愛知農 総試園研, 福岡農総試 園研. (4)	〔果実の成熟促進〕 ①着色始の10日前, ②着色始期 ; 50, 100 ㎖ <均一に ぬれる様> ; 果房散布.	継	継)・効果の確認.
		カキ	適用性 新 規	岐阜農総研, 和歌山果園 試紀北, 福 岡農総試園 研. (3)	〔果実の成熟促進〕 ①着色始の30日前, ②着色始の20日前 ; 50, 100 ㎖ <したた る程度> ; 枝別散布.	継	継)・効果の確認.

薬剤名・剤型 〔委託可名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所 ＜＞は中 間または実 施中	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
9. PP-333 フロアブル剤 (バウンティフ ロアブル)	バクロブトラゾ ール……21.5%	オウト ウ (露地)	＜7年 度＞ 適用性 継 続	山形園試. (1)	〔新梢伸長抑制；(収穫 後直後～1ヶ月後散布 の効果確認)〕 収穫後1ヶ月以内 ； 2,000～1,000倍 1回(散布水量一任) ； 立木全面散布 (別途協議)。	実・ 継	(前年どおり) 実)〔オウトウ：新梢伸 長抑制〕 * 収穫2週間以前 立木全面散布 ・ 満開3～6週間後、 1～2回、 ・ 2,000～1,000倍。 * 収穫後 立木全面散 布(雨よけ栽培を含 む露地栽培) ・ 収穫直後～50日、 1回。 ・ 1,000倍。 * 土壌処理 ・ 発芽前。 ・ 20～40ml/a ＜20 l/a＞。 注)・それぞれの散布 は併用しない。 ・ 樹勢の弱い樹には 使用しない。 継)・年間使用回数およ び連年処理の影響に ついて。
10. RIC-1 液剤	海藻ホモジネー ト	モ モ (苗木)	作用性 継 続	愛知農総試 園研. (1)	〔根および地上部の生育 促進〕 ①無処理 ＜水1 l/樹灌水＞, ②原液1 ml/樹 (1,000倍), ③原液2 ml/樹 (500倍), ④原液3 ml/樹 (333倍), ⑤原液5 ml/樹 (200倍) ＜1 l/樹＞ ； 灌水処理。	—	—
(つづく)		モ モ	適用性 継 続	長野果試, 愛知農総試 園研, 岡山 農試. (3)	〔果実肥大・品質向上〕 (連年処理を希望) ①無処理, ②3月上中旬 20～40 ml/樹 土壌処理, ③4月下旬と5月下旬 2,000倍液 立木全 面散布 ＜水量一任＞。 詳細は、別途協議。	継	継)・効果の確認。

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続の 別	試験担当場 所名 ＜ ＞は中 間または実 施中 験	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期； 薬量＜水量 l＞／a； 処理方法等	今 回 判 定	内 容
10. RIC-1 液剤 (つづき) 〔ロイヤルイン ダストリーズ〕		ナ シ (幸水)	作用性 新 規	栃木農試. (1)	〔根および地上部の生育 促進〕 3～4月 ①無処理 ＜水 1～3 l／樹灌水＞, ②原液 1 ml／樹, ③原液 2 ml／樹, ④原液 3 ml／樹, ⑤原液 5 ml／樹 ＜水 1～3 l／樹灌水＞ ； 灌水または吸水処理 ； 3年間の連年処理.	—	—
11. TS-303 液剤 〔タマ生化学； バル企画〕	2 α , 3 α - dipropion- loxy-22, 23 -epoxy-24 S-ethyl- β -homo-7 -oxa-5 α - cholestan- 6-one ……………30ppm	落葉果 樹	作用性 継 続	千葉大学. (1)	〔結実向上効果〕 別途協議.	継	継)・効果の確認.
		ブドウ (巨峰)	適用性 継 続	秋田果試天 王, 山形園 試, 長野中 信農試, 山 梨果試, 石 川砂丘地農 試, 広島農 技果研, 福 岡農総試園 研. (7)	〔結実向上(花振り防 止)効果〕 開花始め10～5日前 ①無処理, ②0.006 ppm (5,000 倍), ③0.01 ppm (3,000 倍), ④0.03 ppm (1,000 倍) ＜したたり始める程 度＞ ； 立木全面散布.		
				自主；長野 中信農試 (安芸ク イーン).			
				オウト ウ			
		自主；秋田 果試.					

C. 展 着 剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場 所名 < >は中 間または実 施中 (効)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. KP-6100 液剤 〔花 王〕	成分未公開 ……………30%	果樹一 般	適用性 継 続	岩手園試 (リンゴ), 長野中信農 試(落葉), 和歌山果園 試(常緑). (3)	〔除草剤の効果安定; 一 年生雑草〕 詳細は, 別途協議.	—	
		果樹一 般, 非 農耕地	適用性 継 続	岩手園試 (リンゴ), 長野中信農 試(落葉), 和歌山果園 試(常緑), 植調研, 植 調岩手試験 地, 植調熊 本第二試験 地. (6)	〔除草剤の効果安定; 多 年生雑草〕 詳細は, 別途協議.		

この草はなんだろう? 手軽に調べたい。

三二雑草図鑑

—— 耕地雑草ハンドブック ——

A5判 本体2,200円

耕地には主要なものだけで150種を超える雑草が生えてきます。これら雑草の防除の第一歩は草を知ることです。本書は、農耕地や樹園地などによく見られる雑草397種を写真とともに紹介した、草を知るための野帳版雑草図鑑です。

原色図鑑 芽ばえとたね

浅野 貞夫／著

A4判 本体9,800円

芽ばえの姿はどうなんだろう。本書は、植物の芽ばえのようすを克明に表した精密図版と、種・成植物の写真による植物の一生図鑑です。成植物のみの図鑑と異なり、芽ばえのようすから紹介しているため、植生などの調査にたいへん役に立つとの声が寄せられています。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6
TEL. 03-3833-1821 FAX. 03-3833-1665

植 調 協 会 だ よ り

◎ 人 事 異 動

平成9年4月30日付

退職 技術顧問

藤井 啓 史

◎ 会議開催日程のお知らせ

平成9年度水稲・畑作除草剤地域別中間現地
検討会日程表

地 域 別	部 門	開 催 日	開催地
北 海 道	水稲・畑 作	7月1日(火)～7月4日(金)	北海道
東北・北陸	水 稻	6月24日(火)～6月25日(水)	青森県
東 北	畑 作	6月26日(木)～6月27日(金)	福島県
東 海	水 稻	6月5日(木)～6月6日(金)	三重県
近畿・中国・四	水 稻	7月17日(木)～7月18日(金)	岡山県

・平成8年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤
試験成績検討会

日時：平成9年7月2日(水), 10:00～17:00

3日(木), 9:00～16:00

場所：琵琶湖ホテル

〒520 滋賀県大津市柳が崎

☎ 0775-24-1511

・平成8年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育
調節剤試験成績検討会

日時：平成9年7月8日(火), 14:00～17:00

9日(水), 9:00～11:30

場所：大阪厚生年金会館

〒550 大阪府大阪市西区新町

1-14-15

☎ 06-532-6301

新刊

SHIBUYA INDEX —Index of Pesticides— 1996年版

(英語版)

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第7版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余種を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余種も掲載。

呈内容見本

全国農村教育協会 〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂 英雄
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

平成9年5月発行 定価420円(送料270円)
植調第31巻第2号 (本体400円,消費税20円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 (有)

作物にやさしく、
スギナも枯らす。



●作物にやさしいバスタ

バスタは作物体の他の部分に移行して影響が出たり、後にまで影響することはほとんどありません。

※バスタは非選択性ですので、作物の茎葉に飛散するとかかった場所に薬害を生じますので注意してください。

スギナ

●なんでも枯らすバスタ

バスタはほとんどすべての雑草に効果できめん。スギナ、ツユクサなどの問題雑草にも優れた効果を発揮します。

●速く効く、長く効くバスタ

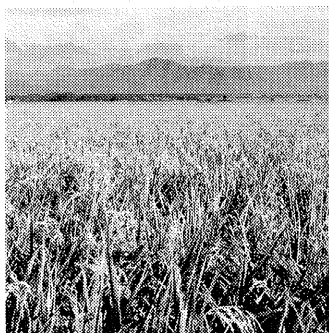
バスタは速く効いて、しかも長く効く。く速くく長くという両方で満足できます。

●使いやすいバスタ

バスタは普通物、魚毒性はA類相当 (原体) です。また、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土や環境に影響の少ない除草剤です。

®:ドイツ ヘキスト社の登録商標

バスタ普及会 日本農業株/日産化学工業株 (事務局) ヘキスト・シェーリング・アグレボ株 〒107 東京都港区赤坂4-10-33



ホクコーの水稲用除草剤

パピカ®A
1キロ粒剤36

レインジャー® 1キロ粒剤

バトル® 1キロ粒剤

クサメッツ® フロアブル

マイキープ® 1キロ粒剤

ブローザックス® 乳剤

レトリール® フロアブル

ユニハープ® フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

農 協 経 済 連

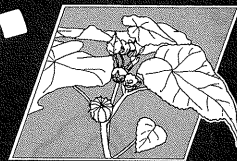
全 農



北興化学工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

とうもろこし畑の イチビ 防除に!!



しつこいイチビに、とどめの効きめ!

- しつこいイチビ、やっかいなオナモミ、さらにタデ類、ハコベ、シロザ、タネツケバナなど広範囲の広葉雑草に優れた効き目を発揮します。
- 雑草の発生前期から3葉期前後まで、広い散布適期幅をもつ除草剤です。
- 難防除雑草の発生を確認してから散布ができるので、確実性が高く、より経済的です。

畑作の広葉雑草防除剤

バサグラン®液剤
(ナトリウム塩)

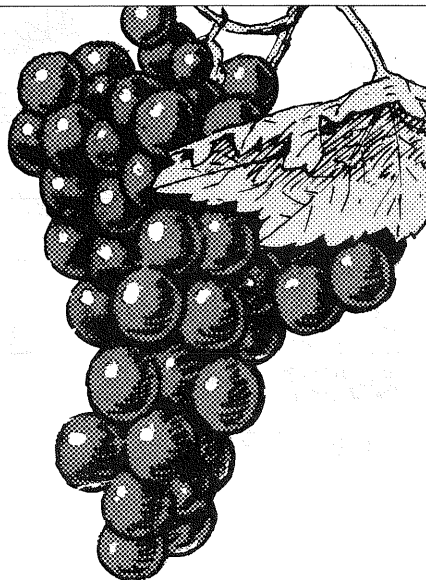
取扱会社：クミアイ化学工業㈱／三共㈱／サンケイ化学㈱／日本農薬㈱／北興化学工業㈱／八洲化学工業㈱
普及会事務局：住友化学工業㈱ 〒104 東京都中央区新112-27-1

®はBASF社の登録商標です。

植物化学調節実験法

植物化学調節学会 高橋 信孝・編
A5判・468頁・定価5,000円(税別)

植物の化学調節研究はいわゆるモニター屋、ブッカケ屋の連携によって初めて可能となるもので、両者の相互理解が必要です。本書はこの研究に役立つよう編集されています。つまり、作物の研究者、技術者が生理活性物質の分離・同定や生物検定法を、化学、薬学の研究者が除草剤、植物調節剤の生物実験法を理解し、実験できるよう平易かつ具体的に解説してあります。



発行 植物化学調節学会

発売 全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6(植調会館)

TEL. 03(3833)1821 FAX 03(3833)1665

一発除草剤は「新時代へ」



田植直後から使える

楽らく快適! アワード®フロアブル

自己拡散型

ノビエ3葉期まで使える

クラッシュ®1キロ粒剤

シェリフ®1キロ粒剤

安心の初中期一発処理剤

湛水直播水稻にも

バトル®1キロ粒剤

キックバイ®1キロ粒剤

ゴースト®粒剤

ハヤテ®粒剤

▲ 武田薬品工業株式会社
アグロカンパニー
〒103 東京都中央区日本橋二丁目13番10号

自信の選択。



水田除草、新時代。

水田除草に新しい時代をひらいたDPX-84剤

ウルブエース ザーク® フジガラス®
プッシュ® ゴルボ® レインジャー®
カルショット® クサメッツ®

※DPX-84の一般名はベンスルフロンメチル



デュポン株式会社 農業用製品事業部

〒153 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコ・タワー TEL.(03)5434-6116

新しい流れ、 時代は1キロ、軽量化!!

10アール当り
1kgの散布



1キロ粒剤
の特長

- ①10アール(1反)当たり1kgの散布で安定した除草効果
- ②軽量なので作業が楽
- ③散布効率が向上
- ④軽量、小型なので持ち運びが楽
- ⑤最新技術で工夫した製剤
- ⑥省資源を目指した製剤



水稲用一発処理除草剤

ウルブエース 1キロ粒剤 51・75



JAグループ

農 協



経済連

®は登録商標です



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 ☎110-91

いのちの輝きを見つめる

Meiji



非選択性茎葉処理型除草剤
(ピアラホス除草剤群)

ハービー液剤
サポート水和剤
インパルス水溶剤



明治製薬株式会社

104 東京都中央区京橋2-4-16